

No.26 >>> Contents

●提携支援センターから

福島県養蚕農家の皆様とともに

純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ (株)伊と幸 取締役副社長 北川 幸 ——— ①

地場産大島紬復活の取組みと「ふい絹」利用

・・・・・・ (財)大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所 所長 清水 重人 ——— ⑤

平成 24 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ・ ・ ・ ・ ・ ——— ⑬

提携支援センター活動日誌 ・ ・ ・ ・ ・ ——— ⑯

●全国連絡協議会だより

設立後の動向と蚕業技術研究所現地研修会

・・・ 蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会事務局 大石 明 ——— ⑰

●提携事業と新蚕品種

雄の蚕を飼育するための蚕品種

・・・・・・ (財)大日本蚕糸会蚕業技術研究所 所長 井上 元 ——— ⑳

●蚕糸絹情報

事業推進委員会の開催及び提携グループ現地調査

・・・・・・ 蚕糸・絹業提携支援センター 佐藤 良介 ——— ㉔

●中国情勢

最新中国シルク事情 ・ ・ ・ ・ 蚕糸・絹業提携支援センター 羽田 有輝 ——— ㉖

●蚕糸絹トピックス

「富岡製糸場と絹産業遺産群」(群馬県)

ユネスコ(国連教育科学文化機関)への推薦、正式決定 ・ ・ ・ ・ ・ ——— ㉟

●国内情報

シルク遺産を訪ねて⑥ 十日町市博物館

・・・・・・ 東京産業考古学会 副会長 平井 東幸 ——— ㉫

●トピックス

国内産地情報、海外シルク情報(中国) ・ ・ ・ ・ ・ ——— ㉭

●イベント情報 ——— ㉿

●純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧 ——— ㊱

●蚕糸関係博物館一覧 ——— ㊳

●蚕糸関係機関ホームページ一覧 ——— ㊵

●統計資料(統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。) ——— ㊹

福島県養蚕農家の皆様とともに

純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ

(株)伊と幸 取締役副社長 北川 幸

晴れ渡るのどかな山並み、萌黄色の桑の若葉、鶯が鳴き水路に水が張り、田植を終えたばかりの田棚がつづく、福島県本宮市、二本松市。

今年も例年と何ら変わらぬ、まばゆい初夏の風情・・・

6月某日、当社が平成23年度より蚕種「松岡姫」をお願いしている福島県の養蚕農家様をお訪ねしてきました。

いつもお優しい奥様。お茶受けのお漬物、いつものキュウリの浅漬けを座卓にお出し下さいます。

「ちゃんと検査してありますから、これは食べても大丈夫なキュウリです。」

手元へ落とす視線に、沈痛な憂いを感じずにはいられませんでした。

この一年、罪深い原発問題が、どれほど福島の人々を苦しめてきたことかと拝察されます。

「原発が心配。線量を計らないと、孫にも食べさせられね。私ら年寄りはいいんです。でも子供らに、安心安全なものを持たせてやりたい。孫が食べっから。」

言外の空気が、やり場のない怒りを物語

っているようでした。

ただ真面目に、ただひたすらに、何の落ち度なく罪もなく脈々と営みを続けてこられた農家の方々、よりもよってこのように善良な人々に、どうしてこんなにも重すぎる不幸が襲ってしまったのか・・・

昨年の震災直後の3月末、電気が止まっても、瓦と土塀が崩れただけと、あっけらかんと語られ、蚕室の造りがとても丈夫で何ともなかったことを、むしろ誇りにされたご様子で報告を下さった奥様が、あの時点では、原発の真相を知る由もなく、一方の私も単純にご無事を喜んでいたことが悲しく思い出されました。



純国産の紋意匠の反物

ベントと呼ばれた水素爆発で、放射性物質が飛び散った事実が明白になり、私どもも不安にされました。早速、J A様から大日本蚕糸会様へモニタリング実施のサポートをお願いし、桑の葉から、食品レベルでの分析報告を要請させて頂き、繭については福島県ハイテクプラザにおけるサーベイメータでの測定をして頂きました。

さらに、繭を繭ガラと蛹へ分別する作業を東京農業大学の農学博士に委託し、日本食品分析センターにてゲルマニウム半導体検出器を使用して測定をお願いして、仮に食品として見立てた場合における線量調査を進めて頂きました。重ねて念入りに、生糸としても別途調査し、私どもとしては、桑の葉から生糸に至る各段階での安全性を確認しました。

別掲の繭と生糸の「分析試験成績書」は、セシウム 137、134 とともに、不検出である。

ことを示しております。

繭を煮繭する際、製糸工場では温湯でふやけた繭糸を瞬間ではあっても人の口に含み舌で舐めて、繰糸機につなぐわけです。製織、精練の工程で放射性物質は流れ落ちるのだから、白生地さえ安全ならいいといった甘い考えは、当初から全く持ち合わせておりませんでした。

製織に至るまでの生産工程に関わるすべての人々に対する責任がグループ化の意味でもあるのですから、中途半端では申し訳ないという気持ちが当然に働きました。食品のように内部被爆するわけではなく身に装うのだから神経質になりすぎているのでは、とのご指摘もないわけではありませんでしたが、当社は自社の姿勢を賭して、検査体制を緩めませんでした。

当時の農産物出荷の安全基準は 500 ベクレルとされていましたが、本年は、100



分析試験成績書

第 11899745001-04 号
2011年(平成23年)10月03日

依頼者 東京農業大学

検体名 画



日本食品分析センター
東京農大の委託で実施

2011年(平成23年)9月28日 当センターに送附された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分 析 試 験 項 目	結 果	定 量 下 限	注	方 法
油脂	—	—	1	
セレン-137	検出せず	20 Bq/kg	2	
セレン-134	検出せず	21 Bq/kg	2	
セレン-131	検出せず	20 Bq/kg	2	

注：油脂、セレン-137、セレン-134、セレン-131 多量検出 (東京都多摩市立山崎丁目11番19号)

注：セレン-137、セレン-134、セレン-131 多量検出 (東京都多摩市立山崎丁目11番19号)

注：セレン-137、セレン-134、セレン-131 多量検出 (東京都多摩市立山崎丁目11番19号)

以 上

本試験結果は、依頼者へ送付された分析センターの検体番号にのみ付与されます。

日本食品分析センター

菌の分析書



分析試験成績書

第 1308466001-01 号
2012年(平成24年)6月27日

依頼者 株式会社 伊と華

検体名 生糸



株式会社
日本食品分析センター
東京都杉山区文代4-1-10(電話 118)

2012年(平成24年)6月24日 当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

分析試験結果

分 析 試 験 項 目	結 果	定量下限	注	方 法
総糖				1 --
セロース-137	検出せず	20 Bg/kg	2 --	
セロース-134	検出せず	20 Bg/kg	2 --	
砂糖-131	検出せず	20 Bg/kg	2 --	

(注 文) 試験方法係員 野田昌人、日本食品分析センター 部員研究所 (大阪府茨木市杉原あきぎ丁4番1号)
 031-5780-7111(ホーホ)・137・134・131(平日9時～午後5時迄) 係
 注2: 測定時間1000秒

以 上

※お客様よりご依頼されたご注文センターの検査項目が必ず記載されています。

日本食品分析センター

生糸の分析書

ベクレルとより厳格になり、福島県下のJ A関係者様では戦々恐々とした対応に差し迫られているご様子です。幸いにも、私どもの「松岡姫」は安全であることが立証できていることに、正直、心より安堵している次第です。

ただ、それでも安全確認済みの福島県産の米、野菜が、他県産市価の3分の1、4分の1以下とも聞かれますし、安全なデータがあってもすなわちイメージ回復とはなり得ず、すぐに一致した認識には至らない事実があります。

福島県は、本来は、空気が澄み水もきれいで、安達太良山をはじめ美しい里山が連なるところです。初めて福島県のJ Aみちのく安達様をお伺いしたとき、虹が二重に架かる空を車中から見ることができました。小さな虹を囲むようにして、大きな虹色が浮かんでいました。

「虹が二重にかかるのは、空気のきれいな証拠です。」とJ Aのご担当者様よりご説明があった日のことが思い出されます。

「原発は、人間がコントロールできるものではないでしょう。」

福島県下で農業に関係される方々、実質的に被災された方々の声は悲痛そのものです。

『何としてもこの困難を突破するのだという強い熱意が、思わぬ加勢を引きつけて大きな力を生み出すものだ』と、松下幸之助氏の言葉にあったことを信じたいと思いました。

「松岡姫」ブランドは、蚕・繭・生糸か



「美しいキモノ」に掲載された
「松岡姫」由来の色無地

ら白生地、そして染め上がりの色無地までも「松岡姫」と呼ばれる日本初の統一ブランドとして、平成8年農水省の皆様方のご支援の下に誕生し、その後紆余曲折を経て今日に至っておりますが、何としてもこのブランド事業は存続して参りたいと思っております。福島県養蚕農家様の希望の芽を摘むようなことはできませんし、あのように善良なお人柄を以って大切にお蚕様を育て下さる農家の皆様を失意に陥れるようなことはしたくないと、より一層責任を感じている次第です。

福島県産の農産物価格が急落するのに相反して、純国産糸は値上がりしていきますから、白生地そのもので勝負していく私ども伊と幸の商品は、価格上昇以上の商品価値をお届けしなくてはなりません。生糸として五ツ星以上であることはいうまでもなく、市場が認めるブランド価値がなくては存続できなくなります。松岡姫ゆえのしなやかさ、肌ざわり、美しい染めつき、光沢に加え、細繊維度特有の軽やかさを、より

広く一般の消費者様にお伝えしたいと思います。最上級の品質に加え着心地の良さか

らも選ばれるブランドであり続けたいと念じ、今後一層精進して参ります。

純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ

蚕種供給 富田蚕種製造所



繭生産指導・集出荷 みちのく安達農業協同組合
みちのく安達養蚕専門部会



繭の生産 福島県二本松市養蚕農家 21戸



生糸生産 松岡株式会社



生糸仕入 株式会社伊と幸（傘下の製織工場へ生糸供給）



織物生産 傘下の製織工場



商品企画・販売 株式会社伊と幸



〔 全国優良専門店 〕

地場産大島紬復活の取組みと「ふい絹」利用

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
所 長 清 水 重 人

この度、地場産業型の純国産大島紬の復活を目指す「奄美島絹（しまぎぬ）推進協議会」を、「ふい絹」の繰糸法及び関連機器の取扱い等の説明及び指導のため、訪問する機会がありましたので、現地の取組み等についてその概要を報告します。

提携グループ構築

奄美島絹推進協議会（以下「協議会」という。）は平成 23 年 3 月に申請期限終了直前に提携グループとして構築されました。その主な構成員であり、今回ふい絹繰糸機を導入した会員は 2 社です。1 社は(株)

夢おりの郷（代表取締役社長・協議会会長南祐和氏）及び(株)みなみ紬（代表取締役・協議会会員南修郎氏）で、南祐和氏と南修郎氏は兄弟でもあり、共同でふい絹繰糸機を導入していることから、以下「南グループ」とします。残りの 1 社は(株)アーダン（代表取締役社長西博人氏）で、以下「アーダン」とします。それぞれ、奄美産の繭を復活し、奄美産の絹による地場産業としての商品開発を目指しています。

協議会の設立に至る背景や経過、目的等については、本シルクレポート No.19（2011）及び No.22（2012）で参照できます。



(株)夢おりの郷



(株)アーダン

それによると、昭和 45 年に年商約 300 億円あった本場大島紬が、現在では 10 億円に満たない額まで減少した。また、かつては島桑の桑園があり、養蚕も盛んに行われていたが昭和の終わりには桑園が姿を消した。同時に生糸も国外からの輸入糸を使い大量生産するようになった。南グループとしては、何とか奄美で養蚕を復活し、生糸を含め 100%総て純奄美産の大島紬を提供することで、本場純国産大島紬を復活したい、とのことです。

一方、アーダンでは、平成 8 年から繭のフィブロインによる化粧品を生産、販売しており、地元及びネット通販などを通して顧客から大きな支持を得ている他、衣料や寝具などの絹製品も販売している。何とか地場産の奄美の繭で化粧品を作り、ユーザーに顔の見える商品を提供したい、とのことです。

そこで協議会では、養蚕復活による地域産業型商品開発を目指し、原材料から地場産にこだわるため、桑園を造成し、桑を植え、飼育所を設備して繭を作るとともに、

ふい絹繰糸機及び関連機器を整備して糸を取り、その糸で大島紬やストールなどを製品化するための準備を進めてきました。蚕種は春嶺×鐘月（錦秋×鐘和）及び琉球多蚕繭とし、愛媛蚕種(株)から購入することもあり、蚕種製造の現場へ研修に行くと共に、蚕糸科学研究所でふい絹の糸繰りの研修も行いました。

収穫された繭の利用方法については、表 1 にまとめたように、南グループでは、春嶺×鐘月の上繭については、大島紬の経糸用として碓氷製糸農業協同組合（以下「碓氷製糸」という。）に生糸の生産を依頼し、上繭の一部及び生糸繰糸に向かない選除繭等については、ふい絹又はずりだし糸とし、大島紬の緯糸や帯用とする。一方、アーダンでは、春嶺×鐘月は主に化粧品の原料とするとともに、その一部をストール用のふい絹を繰糸する。なお、琉球多蚕繭については、南グループでは、手紡ぎによる特徴ある糸の生産用とし、アーダンでは、物語性のある化粧品の原料とする、という計画になっています。

表 1 原料繭の使用方法

(株)夢おりの郷 (株)みなみ紬	春嶺×鐘月 (錦秋×鐘和)	上繭	碓氷製糸依頼、大島紬経糸用
		選除繭	ふい絹繰糸、大島紬経・緯糸用、他
	琉球多蚕繭		ずりだし糸、大島紬の緯糸、帯
(株)アーダン	春嶺×鐘月 (錦秋×鐘和)	上繭	ふい絹繰糸、ストール他
		選除繭	化粧品原料
	琉球多蚕繭		

※上繭とは、機械的に繰糸可能な繭のこと。選除繭とは、機械的に繰糸に適さない繭で、穴あき繭や汚れ繭などのこと。両社ともに収穫できた繭は全量無駄なく利用される。

桑園と飼育所

(株)夢おりの郷では、敷地内及び近くの畑に桑園を造成し（写真）、飼育設備は敷地内に設けています。また、(株)みなみ紬では、笠利町に2カ所桑園を造成し、飼育所も備えています。ともに一ノ瀬というポピュラーな桑品種を取り寄せて植えるとともに、自生の島桑を探して移植してあります。訪問時は、一ノ瀬よりも島桑の方が葉と枝振りが良好で、当地の気候風土に適しているように感じました。ただし、奄美は雨が多く雑草も勢いがあるため除草作業も大変とのことでした。

アーダンでは、今回は桑園を拝見する機会がありませんでしたが、飼育所は会社の直ぐ近くに設置されていました（写真）。

24年度春蚕期において、南グループでは春嶺×鐘月 34.5Kg、琉球多蚕繭 15Kgを収穫できましたが、アーダンでは、不測の事故があったため、春蚕期においては大幅な減産となり、飼育の難しさを経験したとのことでした。



桑園（(株)夢おりの郷敷地内）

ふい絹とその繰糸について

ふい絹とは、蚕糸科学研究所で開発した絹新素材で、蚕の吐いた糸の機能や性状をそのまま糸及び製品に残すため、極力低張力で挽いた太糸です。セリシンを残し、撚りを少なくし、ビーティングにより柔らかく加工することを基本とした糸で、「軽く、暖かく、かさ高性があり、独特の光沢と染色時の発色性に特長があり、特にニットや手織りのショール等の商品化で特徴が発揮されます（シルクレポート No.2(2008)、No.4、No.9 (2009) 参照）。

ふい絹繰糸機及び鍋煮繭機等関連機器の取扱いなど各工程（繭の乾燥～煮繭～繰糸～糸処理）における実務として、①南グループ及びアーダンの設備内容に応じた乾燥方法、②収穫した繭の性状に適した煮繭条件の設定、③ふい絹の繰糸方法、④関連機器の取扱い方法、⑤アミソの実習、等について指導を行いました。

24年度春蚕期収穫の南グループの春嶺×鐘月及び琉球多蚕繭については、事前



(株)アーダンの飼育所

表2 平成24年度春蚕期繭質調査（奄美大島産）

	1粒繭重 (g)	繭糸長 (m)	繭糸繊度 (d)	解じょ率 (%)	生糸量歩合 (%)	緒糸量歩合 (%)
春嶺×鐘月	1.34	720	2.00	77.8	11.7	20.4
琉球多蚕繭	0.61	90	1.25	55.5	1.9	201.0

に蚕糸科学研究所において繭質調査を行いました。その結果を表2に示します。

初めての大量本格飼育であったにもかかわらず、春嶺×鐘月は、やや繭が小粒であるものの解じょも良好で、上繭についてはもちろんですが、繰糸に適さない内部汚染繭など汚れ繭についても、できた糸がやや黒ずんだものの問題なくふい絹繰糸ができました。琉球多蚕繭は、その名が示すとおり、玉繭系統であること、繭層が薄く煮繭すると破風抜けになることが多いことから器械繰糸には難があります。古代より、綿状にして紡いで糸にしていたようです。

南グループでは、煮繭後の繭を染めて分繊生糸にしたり、泥染めの繭を用意しふい絹繰糸ができないかどうか試したりと、いろいろな糸取り法にチャレンジしていまし

た。桑を育て、蚕を育て、收繭するという一連の作業に携わり、收繭できた繭を手にすることで、様々なアイデアが次々と浮かんでくるだけでなく、夢も大きく膨らんでくるとのことでした。そして苦労して收繭できた繭なので、全部無駄なく糸にする、とのことでした。

アミソの実習

今回導入したふい絹繰糸機は、直接大枠（枠周 1.27m）に巻き取る直繰式となっています。大枠に巻き取った糸は、アミソを施して大枠から外し、総にして風乾します。アミソとは、総の糸がばらけないように総の所々（3箇所）を綿糸などでかがっておく重要な作業です。このアミソの実習も行いました（写真）。



ふい絹繰糸機（株夢おりの郷）



鍋煮繭機による煮繭の様子（株夢おりの郷）



琉球多蚕繭（株夢おりの郷）



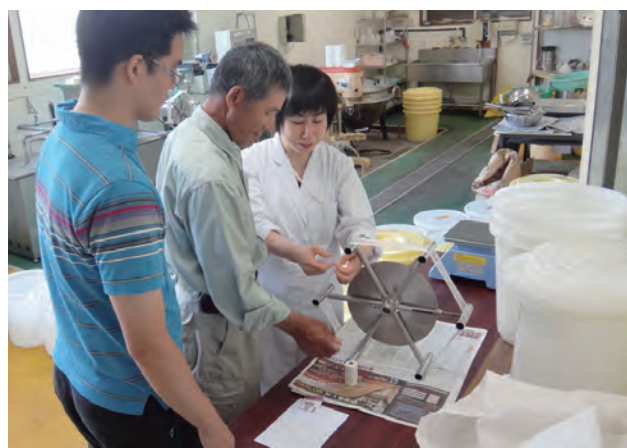
選除繭の繰糸（株夢おりの郷）



泥染めした繭（株夢おりの郷）



分織生糸の繰糸（株夢おりの郷）



アミソの実習（株アーダン）

ずりだし糸による大島紬

南グループでは、琉球多蚕繭の利用として、ずりだしによる手作業での糸取りをしており、琉球多蚕繭を使った新しい大島紬の1つの大きな特徴となっています。笠利町佐仁の南氏親戚の奥氏宅でその作業を見学することができました（写真参照）。こちらへの訪問に先立ち、ずりだしによる糸取りの際に、西城正子氏（元蚕糸科学研究所）のガイド糸を使う方法を電話で南修郎



「ずりだし」により琉球多蚕繭を紡ぐ奥氏。
手前は(株)みなみ紬の南修郎氏



琉球多蚕繭からずりだしている様子

氏に伝えたところ、さっそく実践されてい
ました。ガイド糸には、締機による緋糸を
利用しており、作業がやりやすいこと、緋
糸の柄とのマッチングによりオリジナルな
紡ぎ糸ができることなど、ガイド糸紡ぎ法
はかなり有益だったようです。

その紡ぎ糸を(株)みなみ紬で、帯として織
るところを見学しました(写真)。奄美大
島の伝統的生産物の1つである芭蕉糸との
交織を含め、1点ものの大島紬を夢とアイ
デアで軽やかに織り込んでいました。

芭蕉糸や絶(あしぎぬ)による帯・大島紬

南グループでは、伝統的手法でもある、
芭蕉糸を緯糸に入れて独特の味を出す作品
作りにも取り組んでいます。芭蕉糸を使った
織物は江戸時代に作られていたとのこと
ですが、その伝統を活かした新たな付加価値
を加えた新しい大島紬づくりにおける1つ
の提案として作っているとのことです。ま
た、綿状の琉球多蚕繭を殻ごと細く切って
織り込む原始的な手法で仕上げることで、
弥生時代と同じ手法であることから、当時



手機でオリジナルの大島紬(帯)を織る南修郎氏
(株)みなみ紬



琉球多蚕繭のずりだし糸を緯糸に織り込んだ大島紬
(株)みなみ紬



ずりだし糸や芭蕉布を織り込んだ独特な風合いをもつ大島紬（株みなみ紬）



琉球多蚕繭の純（あしぎぬ）を織り込んだ帯（株夢おりの郷）

の太絹であった「純（あしぎぬ）」と命名し製品開発を行っていました。

地場産の繭からの化粧品の実

アーダンでは、地球を汚さない商品、人体に害がない商品作りをしてきており、消費者の方に喜んでもらっている、とのこと。TVショッピングでの紹介の後、売れ行きが急増したため、繭が足りない状態だ。なんとか奄美の地場で繭ができれば安心できる。今後は、奄美の繭で糸づくりをして、今流行のレッグウォーマーや絹 100%の靴下など、お客さんが望んでいるので作っていきたい、とのこと。

地場産業こそが生きる道

提携グループでは、高価となるが希少性と新しい付加価値を付与した純国産絹製品を、如何にして消費者に理解してもらい購入してもらえるかが、最大のテーマとなっています。そのような中で、協議会では、「大



販売している化粧品(株)アーダン

島紬の復活をどのように実現するか」について、平成 23 年 12 月 25 日にフォーラム 蚕物語「奄美養蚕の復活を目指して」を地元奄美市で開催しました。その概要については、シルクレポート No.22 (2012) 及び大日本蚕糸会の蚕糸絹文化叢書 No.12 (2011) にまとめられています。

この中の基調講演で大日本蚕糸会の高木会頭は、「ユニクロ式の価格競争では勝てない、グローバリズムが進展しているが、

どうしても動けないものがある、それは、①農業、②地場産業、③伝統産業だ。」また、「グローバリズムに対抗できるのは、①地域の力、②土着の力だ。」そして、「急に良いものができるわけではない、試行錯誤しながら、その間めげずに継続して続ける、まさに“技術の継続”による“蓄積した発展”しか無いと思う」とおっしゃっています。まさしくこの言葉に現在の取組みに対する理念が集約されていると思います。

この言葉を受けるように、その後のパネルディスカッションの中で、各パネラーの方々が協議会における取組みの心意気を語っています。その言葉を引用して下記にまとめてみました。

＜現状＞

「今の大島紬は“大島緋”であって、“大島紬”ではない。」

「お客さんにこれまでのような大島紬をみせると、9割は持っているからいらないと言う。」

＜伝統技術＞

「奄美の黒糖はなぜ生き残ったか、苦労して他とは違った特徴の黒砂糖を生産してきたからこそ生き残った。」

「奄美は自然の素材が多く、織物産業として芭蕉布がある。大島紬は、島桑から蚕・真綿、そして白い糸にする技術として蓄積されている。」

「黒糖、芭蕉布、郷土料理、大島紬にしてもいろんなところの技術や伝統を取入れながら島の人たちが自分たちの技術力に合わせて付加価値を作り、良いものを作り上げてきた。」

＜地域の力＞

「どこの糸ですか？」に対し、すべて奄美産の絹糸ですよ、と言いたい。何より説得力が違ってくる。」

「古来の原糸を活かしていけば本来の大島紬の復活になるのではないか。」

「そして、夢を持っているいろんなことに挑戦できる島だと思う。」

終わりに

今回の訪問を通して、今こそ、伝統の技術を最大限に活かし、桑づくり、繭づくり、糸づくり、製品作りのすべての工程を地場産業化し、100%純奄美産の大島紬を復活させる。そして、「こうやって作った」と顔の見えるやり方でお客さんに伝えていくこと、さまざまなアイデアと工夫で顧客のニーズに即応した商品を提供していくこと、奄美産の、奄美地区の特徴を全世界に発信していくことで、地場産業型の大島紬の復活に繋がるものと確信しております。

今後の奄美島絹連絡協議会の取組みに大いに期待したいと思います。

平成 24 年度第 2 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

—新規使用許諾 8 者、新規製品 12 品目などに使用諾許—

社団法人 日本絹業協会

純国産絹マークの平成 24 年度第 2 次審査会を平成 24 年 7 月 31 日 (火) に開催し、今回、14 者（うち、新規使用許諾申請が 8 者で新規製品が 12 品目、使用許諾されている者の製品の追加が 7 品目、生産数量の追加が 5 品目）から申請があり、審査委員会で審査した結果、全 14 者に対し、8 月 6 日 (月) 付けで純国産絹マークの使用許諾をいたしました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規申請者) 福紬織物株式会社 代表者名：丸本繁規 (担当者：丸本徹) 福岡県福岡市西区泉 1-18-4 Tel :092-806-1223 表示者登録番号：162	先染帯地 (本袋男帯)	260 本	蚕品種 ぐんま 200 繭生産 JA 碓氷安中管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 染織 自社
(新規申請者) 株式会社大谷屋 代表者名：河井のり子 (担当者：河井のり子) 新潟県新潟市中央区古町通 7-948 Tel :025-223-5053 表示者登録番号：163	白生地 (表地)	30 反	制作企画 (株)丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 (株)匠
(新規申請者) 株式会社東京藤屋 きものレディ着付学院 代表者名：小沢延年 (担当者：小沢延年) 東京都品川区南大井 3-23-8 Tel :03-3764-0641 表示者登録番号：164	白生地 (表地)	30 反	制作企画 (株)丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 (株)匠
(新規申請者) 株式会社染織こうげい 代表者名：砥綿健 (担当者：砥綿健) 東京都中央区東日本橋 3-1-1 Tel :03-3669-4233 表示者登録番号：165	白生地 (表地)	30 反	制作企画 (株)丸上 繭生産 茨城県南地域養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 (株)匠
(新規申請者) 近江真綿振興会 代表者名：北川茂次郎 (担当者：北川茂次郎) 滋賀県米原市多和田 1406 Tel :0749-54-0227 表示者登録番号：166	布団 膝かけ	100 枚 400 枚	繭生産 JA 愛媛たいき・ (側) JA えひめ南管内養蚕農家 製糸 松澤製糸所 製織 加賀グンゼ(株)、 (株)おおまえ (詰物) 真綿生産 北川茂次郎・原田誠祐商店 布団綿製造 北川茂次郎・原田誠祐商店 縫製 北川茂次郎

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(新規申請者) 株式会社にしむら 代表者名：笹倉雅人 (担当者：笹倉雅人) 兵庫県西脇市西脇 1041-2 Tel :0795-22-2521 表示者登録番号 :167	後染反物 (小紋) (変一越) (紋意匠)	10 反 10 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)、芝井(株) 染色 高田勝(株)
(新規申請者) 有限会社きものおおにし 代表者名：大西治代 (担当者：大西治代) 大阪府東大阪市日下町 6-2-5 Tel :072-981-3204 表示者登録番号 :168	後染反物 (小紋) (変一越) (紋意匠)	10 反 10 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)、芝井(株) 染色 高田勝(株)
(新規申請者) 株式会社コノエ 代表者名：鹿取源一郎 (担当者：鹿取源一郎) 東京都豊島区駒込 2-2-1 Tel :03-3949-7211 表示者登録番号 :169	後染反物 (小紋) (変一越) (紋意匠)	30 反 30 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)、芝井(株) 染色 高田勝(株)
(製品の追加) 株式会社川平屋 代表者名：伊藤正人 (担当者：伊藤正人) 愛知県豊田市桜町 2-34 Tel :0565-32-0902 表示者登録番号 :085	(製品の追加) 後染反物 (小紋) (変一越) (紋意匠)	5 反 5 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株)、芝井(株) 染色 高田勝(株)
(製品の追加) 株式会社ナカノ 代表者名：中野剛至 (担当者：中野剛至) 大分県大分市大道町 1-6-15 Tel :097-544-0308 表示者登録番号 :147	(製品の追加) 後染反物 (加賀友禅)	6 反	制作企画 田中種(株) 繭生産 JA につたみどり管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 南久ちりめん(株) 染色 (株)カネヒサ
(製品の追加) 株式会社マルシバ 代表者名：木下幸太郎 (担当者：野口俊二) 東京都中央区日本橋人形町 3-5-4 Tel :03-3662-2431 表示者登録番号 :160	(製品の追加) ふくさ	720 枚	蚕品種 蚕技研 11 号 繭生産 JA 茨城みどり管内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 芋田織物 染色・縫製 久保商事(株)
(生産数量・製品の追加) 織匠万勝 代表者名：前田章 (担当者：前田健) 京都市中京区姉小路通堀川東入る鍛冶町 173-1 Tel 075-257-5747 表示者登録番号 026	先染帯地 (袋帯) 先染帯地 (名古屋帯) 先染反物 (御召類) (製品の追加) 先染帯地 (袋帯) (金銀糸が 5 % を超えるもの) (製品の追加) 先染帯地 (袋帯) (金銀糸が 5 % を超えるもの)	(数量の追加) 250 本 150 本 150 反 50 本 50 本	繭生産 JA 佐波伊勢崎養蚕連絡協議会 養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 染色 自社 製織 自社

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(生産数量の追加) 日本蚕糸絹業開発協同組合 代表者名：小林幸夫 (担当者：土井芳文) 群馬県高崎市問屋町 3-5-3 TEL:027-361-2377 表示者登録番号:021	後染反物(紋付地) (変三越) (駒紹)	(数量の追加) 120 枚 50 枚	制作企画 絹小沢(株) 蚕品種 世紀二一 繭生産 群馬県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 製織 坪金工業(株) 染色加工 (株)京都紋付
(生産の追加) 株式会社銀座もとじ 代表者名：泉二弘明 (担当者：久保智) 東京都中央区銀座 4-8-12 TEL:03-5524-3222 表示者登録番号:011	(製品の追加) 先染帯地 (織九寸帯)	20 本	蚕品種 プラチナボーイ 繭生産 茨城県内養蚕農家 製糸 碓氷製糸農協 染織 (株)織楽浅野

提携・支援センター活動日誌

No. 26 (H24.7.1 ~ H24.8.31)

年月日	活 動 内 容 等
24.7.6	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の説明会等（群馬県）
24.7.11	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会WG会議（蚕業技術研究所）
24.7.11 ~ 24.7.12	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る蚕種業者及び製糸業者との打合せ等（長野県）
24.7.31	（社）日本絹業協会による純国産絹マーク審査委員会（東京都有楽町 蚕糸会館）
24.8.2	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る製糸業者との打合せ（群馬県）
24.8.2 ~ 24.8.3	蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業に係る事業推進委員会及び提携グループに対する現地調査（京都府）
24.8.22	蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会WG会議（蚕糸科学研究所）



京都西陣織会館 きものショー（事業推進委員会、現地調査）

設立後の動向と蚕業技術研究所現地研修会

蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会
事務局 大石 明

蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会（以下、協議会という。）事務局の大石です。4月11日の57提携グループの総会で協議会が設立されてから4ヶ月が過ぎました。設立当日、事務局員に任命されました。その時点からのスタートで事務機器が揃うまで1ヶ月かかりましたが、大日本蚕糸会と事務所のある株式会社マルシバ（東京都中央区人形町）の皆様の支援をいただき何とか開設できました。今後、全国連絡協議会の動向を順次ご報告してまいりたいと思います。

協議会の活動（戦略会議）

○「第1回純国産絹製品・販売促進強化戦略会議」（平成24年5月10日）東京都千代田区有楽町蚕糸会館にて、幹事・監事、専門委員、蚕糸会他の出席を得て開催。

検討内容については純国産絹製品の新ブランディング戦略のあり方の検討を行いました。さまざまな厳しい状況にある純国産絹製品を維持継承していくための方策の検討として、一般消費者に対するブランディングをし、そのリボーン（新たな誕生）を図ることを目的としています。具体的には

（1）「絹の源展（きぬのげんてん）」を開催し、下記三部構成で展示発表会を行うこととします。①展示プレゼンテーション／日本の絹物語、②パネル・ディスカッション／繭と絹、二つの作り手の出会いと新たな誕生、③「日本の絹」コンシェルジュ制度の制定。（2）「日本の絹」コンシェルジュ制度…「日本の絹」に関するオーソリティーの育成。コンシェルジュのレクチャーによる「日本の絹」PRと教育普及。（3）PR対策…本の出版、DVDの制作、雑誌掲載、ホームページの設置等。（4）ブランディング戦略のための商品企画・開発。蚕糸会館ショールーム（ジャパンシルクセンター）展開等を行うこととしています。



第1回ワーキンググループ会議

ただし、課題もあり、P R、販売促進強化のためには、誰をターゲットにするのか明確にする必要があります。一方、P Rの方法としてターゲットを明確に絞らないで、対象を広くとらえる考え方もあります。今後、いろいろな観点から純国産絹の方向性を明確にしていくこととしています。

協議会の活動（ワーキンググループ会議）

○純国産絹製品P R・販売促進強化戦略検討会「第1回ワーキング・グループ会議」（平成24年6月20日）有楽町蚕糸会館にて幹事・監事により開催。

○同「第2回ワーキング・グループ会議」（平成24年7月11日）茨城県阿見町蚕業技術研究所にて、提携グループ幹事・監事、専門委員等により開催。

○同「第3回ワーキング・グループ会議」（平成24年8月22日）東京都新宿区百人町蚕糸科学研究所にて、提携グループ幹事・監事、専門委員等の出席を得て開催。

これらの会議では、協議会の課題とそれに伴う対応策の検討をワーキング・グループを立ち上げて検討し、スピードある対応を行うこととしました。具体的には、日本の絹に対する各グループの認識は使用目的により違いがあり、①純国産であるだけでなく、その生糸の品質を特に重視する型、②生糸の品質だけでなく、国産繭からの純国産生糸を使用していること（生産履歴）も重視する型、③純国産の繭を利用（真綿、紬糸等）していることを重視する型、の三通りに分けられると思いますが、今後のP

R・販売促進については、協議会として一律の考え方でなく、上記各グループの型の実情に合せた対応をしていかなければならないこととしています。具体的な方向性としては、純国産絹の一般消費者の認知度を高め、その商品の販売の維持向上を目指すこととしています。

また、当協議会のホームページの開設を行うこととしています。これは、協議会の会員への連絡や各種イベントの連絡ツールとして必要なもので、協議会主催及び各提携グループの催事を掲載し活動の活性化を図ろうとするものです。

一方、当協議会主催の展示会としては、平成25年1月に三越銀座店9階イベント会場にて「純国産絹展示会」（仮称）を開催したいと考えております。開催時期は「小正月」に当たり、その時期を活かし、グループの商品紹介、染色他純国産絹の実演、歴史紹介と講演（蚕業技術研究所、蚕糸科学研究所協力）等を計画したいと思っています。なお、第2回のWG会議では、蚕業技術研究所の井上所長、第3回では蚕糸科学研究所清水所長の講演、所内見学を行いました。

私ごとですが、過去に提携グループ（白繭細1号プロジェクト開発チーム）に携わっていた関係で、蚕業技術研究所を訪問するのは、今回で三度目です。5年ほど前に蚕業技術研究所より新蚕種を頂き提携グループの確立に従事していましたが、蚕業技術研究所、蚕糸科学研究所の皆様からは、いろいろとご指導やご援助をいただきまし



第2回WG会議の研修で講演する井上所長

た。私が扱っていた蚕種は「白繭細1号」ですが、当初、日本一、世界一の糸でないと納得がいかないと思っていましたが、一貫生産をし、商品開発を進めていくうちに、細さだけがすべてではないと分かってきました。幸いなことに、私たちが扱う製品では白繭細一号をはじめ各段階の職人の優秀さが生かされ継続生産をしています。

今後、57提携グループが扱う純国産絹が各グループの要望にあった絹であり、また、その良さが世間で認知されるよう、純国産絹のブランディング、PRに努力していきたいと思っております。

今後の活動の検討課題

○きぬ旅（知識向上のための研修）の提案
消費者への純国産絹アピール及び消費者からの絹に対する疑問に対応し、消費者の認知度向上を図るため、知識向上研修を実施したいと考えています。

この「きぬ旅」では、蚕業技術研究所（茨城県阿見町）で、蚕種及び蚕の研究：蚕品種の系統、桑、蚕、養蚕技術等の講義を行



蚕業技術研究所・桑園内での実地研修

うほか、蚕糸科学研究所（新宿区百人町）では、繭糸と絹の研究：繭糸と絹の品質、物性、構造等の講義など純国産絹の知識の習得等消費者にとって魅力ある研修となるよう検討していきたいと思っています。

○富岡製糸所・碓氷製糸等への視察研修

生糸の繰糸工程の見学と講義も検討しています。純国産絹イコール本物という消費者の期待に応えられる、商品、販促策が必要ですが、生産工程の見学により、最終製品の理解をより一層深めることができるとしています。

○大日本蚕糸会 120 周年記念式典への参加（展示、実演）

今後の予定として大日本蚕糸会創立 120 周年記念式典へ協議会として参加したいと思っています。具体的には、平成 24 年 11 月 2 日丸ノ内・東京會館で行われる財団法人大日本蚕糸会創立 120 周年記念式典（仮称）の会場の一部で、純国産絹推奨製品の展示、絹文化的技術の実演を行う予定です。具体化した折には、会員の皆様にご連絡し参加募集を行う予定です。

雄の蚕を飼育するための蚕品種

(財)大日本蚕糸会 蚕業技術研究所

所 長 井 上 元

なぜ雄のみの飼育を望むのか？

戦後の蚕糸業復興に取り組む時でした。それまで絹の最大の消費分野であったアメリカの靴下市場はナイロン製にとって代わられていました。蚕の遺伝学者の田島弥太郎博士と育種研究者の原田忠次博士は、食糧難の時代ですから空腹を抱えながら、今後の蚕糸業を支える蚕品種の育成を熱心に論議されました。その結論は、同じ量の桑を食べても絹の生産量は雄の方が20%高い、また、糸は細くて優れている、狭い国土で絹の生産効率を上げるには、雄の蚕だけを飼育するのが望ましいとのことでした。

早速に両人は、蛹にX線を照射して突然変異を誘起し、多大な労力をかけて、その子孫から卵の色で雌雄が識別できる品種「限性黒卵（げんせいこくらん）」を作り出しました。しかし、残念なことにこの蚕は弱くて、また、白卵と黒卵を選別して雄の黒卵のみを採集するのも大変なので、実用化には至りませんでした。

プラチナボーイの誕生

両人の努力を近くで見っていた大沼昭夫博士は、ショウジョウバエで突然変異によって発見された平衡致死現象を蚕の性染色体に導入すれば、雄のみがふ化する卵を得られると、実験計画を立案して田島博士に提出しました。それを見た田島博士は「遠大な計画だな」とコメントされたのですが、そのとおり、この方法で雄のみがふ化する品種が作出されたのは、実に37年後のことでした。

まず、蛹にガンマー線を照射して突然変異を発生させて、図1のように雄の性染色体であるZ染色体に、致死遺伝子が2種類存在する特殊な雄を作りました。この雄が立派な繭を作るように10年かけて改良しました。

そして、改良された特殊な雄を、立派な



図1 特殊な雄の染色体



図2 ふ化したプラチナボーイ
黒い卵はふ化できなかった雌

繭をつくる普通の雌に交雑すると、産まれた卵からは雄のみがふ化してきます。この場合、普通の雌は2種類の蚕の交雑となっています。これに特殊な雄を交雑するので、出来上がった品種は三元交雑となっています。

この三元交雑の卵からふ化した雄の蚕を、平成16年に茨城県の農家で春蚕期と初秋蚕期に飼育してもらいました。この年は5月からものすごい猛暑でした。この厳しい環境でも、蚕は順調に成育し立派な繭を作りました(図3)。対照の普通蚕品種に比べて、丈夫さなどに遜色はありませんでした。繭の特徴は表1に示しました。繭

表1 農家での飼育成績

得られた繭量 (2.7万頭換算値)	44.6 kg
平均の繭の重さ	1.96 g
繭層の重さ	52.0 cg
繭糸の長さ	1,464 m
繭糸の太さ	2.66 d



図3 農家の平飼い飼育を調査する
蚕業技術研究所の研究者

層の重さ、繭糸の長さなどに雄の特長がみられました。

そこで、白く輝く雄の糸をイメージして、この品種を「プラチナボーイ」と命名し、記者発表し商標登録しました。

試作した綾織りの白生地が(株)マルシバ木下幸太郎社長の目にとまり、(株)マルシバと(株)銀座もとじが中心となるプラチナボーイ研究会が発足しました。最初に得られた知見は、経糸に使用しても毛羽立ちがなく丈夫な糸との評価でした。試験成績が良かったことから、(株)銀座もとじによって蚕糸・絹業提携支援事業が開始され、大島紬を始め各種の和服が製作されています。

プラチナボーイの紹介

事業化と並行して「天の虫天の糸出版プロジェクト」が発足し、プラチナボーイを紹介する書籍「天の虫天の糸」を刊行されました。蚕のことをほとんど知らない執筆者の長町美和子さんが養蚕、製糸、織



図4 プラチナボーイの繭と生糸



図5 プラチナボーイの誕生を紹介する新聞記事
り、染めの現場を訪れ、見て感じたことや現場で働く方々の感想をとりまとめられた本であり、プラチナボーイの糸を経糸に、それに関わる人々を緯糸に、1枚の布を織るように、プラチナボーイの全貌を記録した大変ユニークな素晴らしい本と言えます。

本の中では、農家の方は蚕の揃いが良く



図6 初めて製作された大島紬を拝見する
プラチナボーイ育成者（白衣）



図7 プラチナボーイの紹介本

て飼いやすい、真綿から糸を紡ぐ方は繭層が薄いので糸が細いのだろう、糸が強くて指が切れることがある、製糸では糸のほぐれ（解じょ）が良い、織り方も糸がこれまでになく強くて切れない、等々のコメントが紹介されていて、コメントの中にプラチナボーイの特長が示されています。

蚕種製造の苦労

プラチナボーイの蚕種の製造にはそれなりの苦労があります。まず、雄だけしかふ化しないので、雌蛾が産む約500粒の卵



図8 特殊な雌の性染色体

のふ化率は50%です。そのため、1箱3万粒の場合は6万粒を必要とします。従来の1箱に納めるのは難しいので、分割して入れなければなりません。また、特殊な雄を維持するためには、特殊な雌を必要とします。もちろん、この原種も作出しており、立派な繭を作るように改良されています。さらに、特殊な雄を交雑する普通の雌を選別するために、雌雄鑑別を幼虫の時にを行っていますので、蛹での鑑別よりも手間が掛かっています。

女性用スーツの試作

蚕糸科学研究所と共同して、繭糸ならびに生糸の特性を調査し、女性用スーツを試作しました。プラチナボーイの繭糸はやや長く、繭糸の織度曲線にも普通蚕品種に比べると変動幅と偏差が少ない特徴がみられました。このような繭から繰製した生糸は、糸ムラが少なく織りムラやキズ等の発生を軽減してくれます。

糸を先染めして綾織りの生地を作製し調べてみると、光沢度の方角による違いはなく、糸が均一であることと、曲げに対する硬さや圧縮に対する抵抗性があることが判りました。高いヤング率からしなやかさの

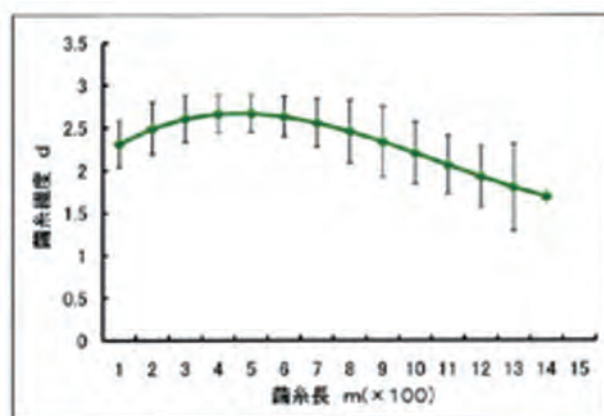


図9 特殊な雌の性染色体

中にも適度な弾力性をもち、さらにコシ、ハリ、シャリ、キシミの風合い値に特徴がみられ、絹らしさを強調する洋装素材にも適していると思われます。



図10 試作した女性用スーツ

事業推進委員会の開催及び提携グループ現地調査 (平成 24 年 8 月 2 日～3 日 in 京都)

蚕糸・絹業提携支援センター
佐藤 良介

蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業における事業推進委員会は、事業実施希望者から提携システム確立事業計画書（提携グループへの助成事業を受けるための計画書）が提出された際の事業実施要件適合性について意見を求められる有識者で構成された審査機関であり、平成 22 年度までに 11 回開催され、57 の提携グループが承認されている。

(1) 事業推進委員会

今回平成 24 年 8 月 2 日の事業推進委員会では、蚕糸・絹業提携支援緊急対策事業の取組経過の概要、平成 23 年度の蚕糸業の状況等について報告するとともに、質疑等を行った。その際、委員からは、以下の意見があった。

- 養蚕農家が毎年減少しているので、若い人や本気で養蚕をやりたい人を掘り起こす仕組みを考えたらどうか。
- 農政に養蚕を 1 つの作物として反映させるために、もっと農水省にアピールすべきである。

○最近では、蚕糸関係での農業祭参加の案件がないので、来年は是非天皇杯をねらって蚕糸から出してほしい。

また、委員会に引き続き、既に承認されている 3 つの提携グループについて現地調査を行った。その概要は以下のとおりである。

(2) 提携グループ：西陣純国産絹振興会（西陣織会館：西陣織／先染織物）

西陣織会館内で、提携グループが取り組んでいる純国産絹のマフラー等を販売している。全体の絹製品から見ると純国産の絹



純国産絹製品のマフラー

製品はごく一部ではあるが、販売コーナーを設置し、宣伝に努めている。また、純国産絹製品ができるまでの展示や実演が行われており、さらに、本会が委託している常設の展示コーナーもあり、来客へのアピール力はかなりある。

会館内では、1日に7回きものショーを行っており、多くの人だかりができ盛況であった。昨年の震災後観光客が激減したが、大分持ち直しているとのことであった。

(3) 提携グループ：日本の絹を守る会（株式会社西陣まいづる：西陣帯）

西陣まいづるが中心となって活動している「日本の絹を守る会」を調査した。

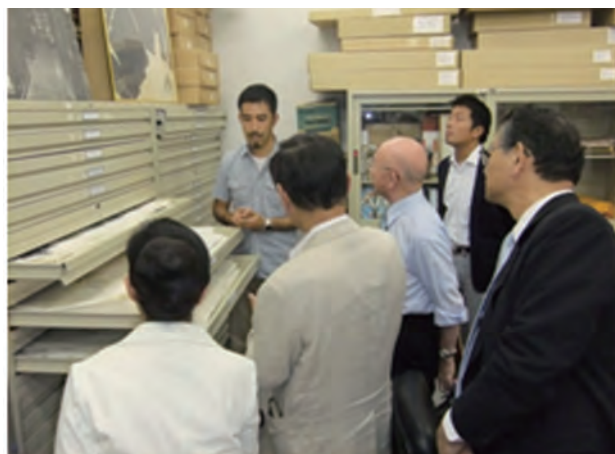


戦略を語る舞鶴 一雄氏（中央）

舞鶴社長が業界の問題点、消費者のニーズ等を分析した上で、西陣まいづるが取り組んでいる戦略（こだわり、差別化、新たな取り組み等）について、詳細な説明があった。純国産生糸へのこだわりがあり、そ

れが今の提携グループ設立に繋がっているとのことであった。

(4) 提携グループ：千總純国産絹製品販売・商品開発グループ（株式会社千總友仙工場：京友禅／後染織物）



(株)千總資料室にて

(株)千總友仙工場では、生産履歴が明らかかなものづくりにこだわるのが、今回の提携グループへ繋がっていることが分かった。さらに、同提携グループ関係者から下記のような意見があった。

○2年後に助成金がなくなるので、提携グループが安定して活動できる仕組みを考える必要がある。

特に繭代を支払ってから製品になってその資金が回収できるのは1年以上も後であり、購繭資金への支援がほしい。

また、千總グループでは、使われない中下繭の利用法も重要で、今後は農家経営の安定にもつなげていきたい意向。

○養蚕農家が毎年減っていることには特に不安を感じている。

最新中国シルク事情 ～最近の繭、生糸生産状況～

蚕糸・絹業提携支援センター
羽田 有輝

中国は、現在、世界の繭、生糸の約 8 割近くを生産する世界最大の絹生産国とともに絹原料、織物などの生地加工品及び製品を含め世界最大の絹輸出国でもあり、シルク事情について中国の動向なしでは語れない存在になっている。

今回は、新しい公表データをもとに最近の繭、生糸生産状況を紹介する。

最近の家蚕繭・生糸生産状況

中国では、インドと同様に柞蚕、エリサン、クスサン、ムガサンなどの野蚕繭も生産されているが、そのほとんどは柞蚕繭であり数量にして約 4 ～ 5 万トン程度で最近では増えていない。

家蚕繭の最近 5 年間、2007 年以降の省（区）別生産状況は第 1 表のとおりであり、2007 年に史上最高の約 78 万トンの増産になった後、2008 年のリーマンショック後の国際金融危機による繭・生糸価格の低迷及びサトウキビ等の国際農作物の高騰による農民の意識変化などが主な原因となり、2008 年、2009 年と連続して減産し、この 2 年間で 2007 年比 26 % も大きく減



広西壮族自治区の桑園風景

産した。

その後、2010 年以降は生糸等蚕糸原料類の主要輸出先のインドへの輸出伸張及び中国国内のシルク布団を中心とした内需の拡大により、農家からの繭購入価格が上昇したこともあって、2010 年度は前年比 7 %、翌 2011 年は前年比 3 % の小幅な増産となっている。ちなみに、2010 年度の年間平均（生）繭価格は、31 元／kg（403 円／kg）で前年比約 4 割増加し、2011 年度のそれは 34 元／kg（442 円／kg）で前年比約 1 割増であった。

最近の生糸生産量は、第 2 表のとおりで 2007 年は 108,310 トン（約 181 万俵）

第 1 表 最近の中国省（区）別家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production in China

省(区)別 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated cocoon Production(トン、%) (MT,%)							
		2007	2007年構成比 (%)	2008	2009	2010	2011	2011年構成比 (%)	対前年比 2011/2010 (%)
山 西	Shanxi	5,800	0.7	6,033	4,046	5,894	6,622	1.0	112
河 北	Hebei	1,020	0.1	1,000	1,200	1,500	1,500	0.2	100
江 蘇	Jiangsu	104,119	13.4	95,476	73,175	77,399	65,597	10.3	85
浙 江	Zhejiang	83,900	10.8	64,319	45,600	57,000	50,886	8.0	89
安 徽	Anhui	38,100	4.9	33,400	24,800	25,000	25,000	4.0	100
江 西	Jiangxi	12,400	1.6	10,015	7,602	7,000	7,700	1.2	110
山 東	Shandong	40,500	5.2	34,530	23,900	22,000	20,800	3.3	95
河 南	Henan	13,700	1.8	11,641	10,101	7,500	8,340	1.3	111
湖 北	Hubei	15,800	2.0	21,200	17,150	10,600	6,612	1.0	62
湖 南	Hunan	4,200	0.5	4,300	3,182	2,452	2,596	0.4	106
広 東	Guangdong	81,127	10.4	70,693	53,321	39,300	57,117	8.9	145
広 西	Guangxi	205,163	26.3	170,900	172,900	214,000	231,000	36.2	108
重 慶	Chongqing	24,800	3.2	22,110	17,311	17,200	18,500	2.9	108
四 川	Sichuan	83,700	10.7	68,576	70,000	71,000	74,000	11.6	104
貴 州	Guizhou	2,532	0.3	3,626	2,750	1,460	1,370	0.2	94
雲 南	Yunnan	36,600	4.7	40,348	30,230	40,000	42,700	6.7	107
陝 西	Shaanxi	24,600	3.2	23,800	17,200	17,600	18,040	2.8	103
甘 肅	Gansu	500	0.1	420	253	304	271	0.0	89
寧 夏	Ningxia	500	0.1	520	126	126	130	0.0	103
新 疆	Xinjiang	200	0.0	480	450	580	210	0.0	36
内 蒙 古	Inner Mongolia	-	-	-	-	-	-	-	-
合 計	Total	779,261	100.0	683,387	575,299	617,915	638,991	100.0	103

資料出所：中国絲綢協会及び中国ネット公表データより

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

と 10 万トンの大台を超えていたが、繭生産と同様に 2008 年と 2009 年の両年は減少した。これは当時の世界的金融危機による輸出の減少と生産コストの上昇が影響している。

その後 2010 年以降は、中国政府が実施した消費、内需促進策、景気刺激策により、シルク内需（インテリア部門でのシルク布団の需要）の拡大が進み 2010 年は 95,778 トン（約 160 万俵）で前年比 4% 増加、2011 年には 103,849 トン（173 万俵）で前年比 8% 増加し、数年ぶりに 10 万ト

ンの大台を回復するに至っている。

「東桑西移」プロジェクトの進捗状況

2000 年からの国家による西部大開発計画のもとに、中西部の土地、労働力等の有利な資源を東部の優秀な加工技術、管理及び資本を有機的に結合させるシルク産業の構造改革である東桑西移プロジェクトは、2006 年から本格的に進められてきている。これは養蚕産地を工業化、都市化が進んでいる沿海地域の東部から経済的後進地域の中西部にシフトさせるもので、第 1 表の省

第2表 最近の中国省（区）別生糸生産量 Domesticated Raw Silk Production in China

省（区）別 Province	区分	生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)						
		2007	2008	2009	2010	2011	2011年構成比 (%)	対前年比 2011/2010(%)
山西	Shanxi	130	64	266	182	64	0.1	35
河北	Hebei	-	-	-	-	-	-	-
江蘇	Jiangsu	22,000	20,450	17,800	16,000	19,506	18.8	122
浙江	Zhejiang	18,500	17,950	15,000	14,436	15,162	14.6	105
安徽	Anhui	5,200	5,500	5,200	6,438	5,487	5.3	85
江西	Jiangxi	2,500	2,570	2,900	3,591	2,170	2.1	60
山東	Shandong	7,200	5,530	5,800	7,510	3,723	3.6	50
河南	Henan	3,300	2,800	2,100	103	0	0.0	-
湖北	Hubei	470	332	555	446	437	0.4	98
湖南	Hunan	60	58	104	197	0	0.0	-
広東	Guangdong	1,400	1,513	1,722	1,711	1,183	1.1	69
広西	Guangxi	11,000	14,069	16,237	18,164	17,551	16.9	97
重慶	Chongqing	7,800	5,497	4,200	4,000	3,811	3.7	95
四川	Sichuan	24,700	16,400	14,900	17,000	28,074	27.0	165
貴州	Guizhou	-	23	105	134	182	0.2	136
雲南	Yunnan	1,640	2,871	2,237	2,138	2,108	2.0	99
陝西	Shaanxi	2,300	2,868	3,263	3,664	4,391	4.2	120
甘肅	Gansu	-	-	-	-	-	-	-
寧夏	Ningxia	50	30	0	0	0	0.0	-
新疆	Xinjiang	-	30	0	0	0	0.0	-
内モンゴ	Inner Mongolia	60	65	66	64	0	-	-
合計	Total	108,310	98,620	92,455	95,778	103,849	100.0	108

資料出所：中国絲綢協会及び中国ネット公表データより

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(区)別家蚕繭生産量(2007年～2011年)をみると、東部沿海地域の各省の全国繭生産量に占める割合は徐々に低下し、それに対し、中西部地域の各省(区)の全国に占める割合は徐々に増加している。より具体的に、東部として江蘇省と浙江省を中西部では広西壮族自治区と雲南省を代表例として、この主要4産地での2005年と2011年での養蚕規模を比較したのが第3表である。

江蘇省と浙江省は、桑園面積はこの期間



今や中国で稼働する繰糸機の9割は
中国製自動繰糸機

で減少し（江蘇省は約3割減）、これに伴い共に家蚕繭生産量は3～4割近く減少した。一方、広西壮族自治区と雲南省では桑園面積は共に約6割増加し、家蚕繭生産量

は広西壮族自治区で6割近く増産し、雲南省ではこの期間に約9割近くも大增産となっている。

このように繭生産基盤の産地移動は、順

第3表 主要4産地の養蚕規模比較

産地別	区分	2005年	2011年	比率('11年/'05年) (%)
江蘇省	桑園面積(万ムー)	136.3	95.0	69.7
	家蚕繭生産量(トン)	100,539	65,537	65.2
浙江省	桑園面積(万ムー)	105.6	102.5	96.5
	家蚕繭生産量(トン)	74,834	50,886	68.0
広西壮族自治区	桑園面積(万ムー)	141.0	226.0	160.3
	家蚕繭生産量(トン)	148,460	231,000	155.6
雲南省	桑園面積(万ムー)	78.0	127.0	162.8
	家蚕繭生産量(トン)	22,500	42,700	189.8

資料出所:中国絲綢協会及び中国ネット公表データより
注:面積単位1ムー=1/15ha

第4表 中国省(区)別従業員年間平均賃金(2010年)

省(区)別	年平均賃金(元)	円換算(円)	対全国比(%)
1 江蘇省	39,772	517,036	108.85
2 浙江省	40,640	528,320	111.22
東部(1と2の平均)	40,206	522,678	110.04
3 広西壮族自治区	30,673	398,749	83.95
4 雲南省	29,195	379,535	79.90
中西部(3と4の平均)	29,934	389,142	81.92
全国平均	36,539	475,007	100.00

資料:中国統計年鑑2011年度版
注:1元=13円



中国製糸工場の仕上げ（束装・包装）工程

調に進んでいる。そして、その加工部門の生産基盤、製糸企業の中西部への進出状況は、期間的に2～3年遅れて進んでいる。2008年の生糸製造の認可企業数は全国で682社であったが、現在これが約30社ほど減少し650社となっている。地域的にみると、東部の浙江省の製糸企業数は最も減少しており2008年の122社が36社減少して現在86社となった。一方、中西部の広西壮族自治区、雲南省では増加している。

特に広西壮族自治区の製糸企業数は、2006年52社が29増加して現在81社であり、雲南省では同期間で10数社増えて現在30社が認可されている。

第4表は、中国の主要4省（区）別従業員年間平均賃金の比較である。これの東部

地区の賃金ベースは、中西部地区と比較して約3割位高いものになっており、製糸企業が中西部に進出するに有利な要因になっていることが判る。

今後の課題

このように、シルク産業の中で養蚕業と製糸業の生産部門の中西部への移行は円滑に進みつつあるが、これの付加価値を高めた絹業面での課題が残っている。

現状、繭・生糸生産では主力産地に成長した広西壮族自治区と雲南省ではあるが、前者では絹織物製造企業は僅か10社にすぎず、染色加工企業や有力貿易企業は皆無であり、後者の場合もほぼ同様な状況下であり、この方面は、産地内で消費できない原料を東部産地に販売移出しているのが現状である。すなわち、**東桑西移**（養蚕業を中西部へ）と**東糸西移**（製糸業を中西部へ）はほぼ確立しつつあるが、**東絹西移**（（絹は織物の意味）絹業を中西部へ）が現状進んでいないことになる。

このため、両産地のシルク業界は、当面、原料糸類を距離的に有利なインド等東南アジアへの輸出拡大と余剰原料を利用した真綿布団の製造・販売に活路を見出そうとしている。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」（群馬県） ユネスコ（国連教育科学文化機関）への推薦、正式決定

政府はさる8月23日、世界遺産条約関係省庁連絡会議を開催し、2年後、2014年の世界文化遺産登録を目指し、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をユネスコへ推薦することを正式に決定した。

優美で高品質な生糸の大量生産をわが国で初めて実現し、絹産業の発展や、絹の大衆化に大きく貢献した富岡製糸場を中心とする4つの資産群が、いよいよユネスコの審査にかけられる。

2003年に県が富岡製糸場の世界遺産登録を目指す意向を表明して以来、県民あがて展開してきた世界遺産登録運動は、ほぼ10年の歳月を経て、ようやく一つの大きな節目を超えたといえよう。

今後、文化庁は9月末を期限とする暫定版の推薦書を、さらに来年の1月を目途に正式の推薦書をユネスコに提出、諮問機関による現地調査を経て、2年後の2014年に審判が下されることになる。

東京・銀座のぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家^ち）でも、県内の絹産業遺産群を紹介するイベントが開催されているが、誘致活動をより一層盛り上げ、わが国蚕糸絹業近代化のシンボルともいえる富岡製糸場ほかの世界遺産登録を是非とも実現させたいものである。



富岡製糸場東繭倉庫（写真提供、群馬県富岡市）

「富岡製糸場と絹産業遺産群」

明治政府がフランスから製糸や工場建築の技術を導入して、1872（明治5）年に設立した富岡製糸場（富岡市）を中心に、製糸場と連携して繭の生産に貢献した田島弥平旧宅（伊勢崎市）、高山社跡（藤岡市）、荒船風穴（下仁田町）で構成。

シルク遺産を訪ねて⑥

十日町市博物館

東京産業考古学会

副会長 平井 東 幸

新潟県の十日町市博物館にはシルク遺産が多数保存展示されている。繊維関係では県内の博物館でもっとも充実している。また、国宝の縄文式火焰型土器群の展示は絶対に見のがせないところだ。

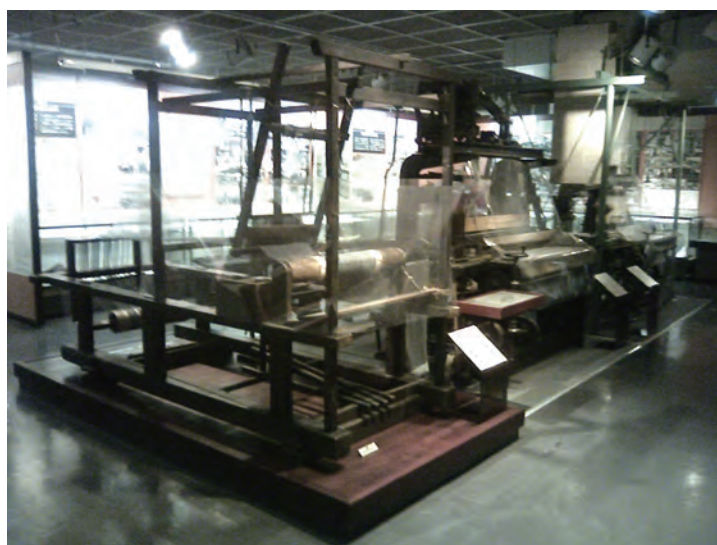
J R 東日本飯山線・ほくほく線の十日町駅から徒歩 10 分の十日町市博物館は、文部科学省推薦の全国的に特色ある博物館であり、3 階建てで昭和 54 年のオープン。1 階が常設展示場で、その一角にシルク関係としては、パネルによる歴史、製造工程の

説明と、織機が 3 台、すなわち①明治時代の高機 ②スイス・ルーティエ社の力織機（大正 11 年県立染織講習所が購入、輸入商は神戸のシーベル・ヘグナー社）③津田駒式力織機 K 型（1973 年製）が展示されていて、かつては極めて華やかだったシルク産地の歴史をしのばせている。

また、同館が誇るのは、国の重要有形民俗文化財に指定されている越後縮の用具と関連資料 2098 点である。苧麻（からむし）の栽培から織布までの生産工程を 42 枚のパネルと用具で展示しており、わが国最大



十日町市博物館全景



館内の織機の展示

のコレクションであり、近世の産業遺産としても貴重である。

周知のように、十日町は越後縮産地として発展、その技術をベースに江戸末期から明治にかけてシルクに展開、最盛時には生産量 300 万点と「京都西陣と肩を並べる絹織物の総合産地」（同館資料）だった。人口 6.2 万人の同市の統計によると、平成 21 年現在で、繊維製造業は、なお事業所 301、従業者 1,330 人、出荷額 98 億円を有している。また、十日町織物工業協同組合によると、平成 23 年で組合員 23 社、生産は 6 万点、出荷は 36 億円、すべてシルク製品である。

なお、十日町に行かれる際には、同館の隣の情報館（内藤廣設計の図書館内部構造は見事である）、越後妻有交流館キナーレ

（2 階は現代美術展示施設）、また、市内各所に野外展示されている約 80 基の彫刻作品を見学されることをお勧めしておく。3 年に一度の「大地の芸術祭」は世界から作家を呼んで制作し野外展示を行うことで全国的にも知られている。同市は、縄文土器を初めとする貴重な考古資料、伝統産業の越後縮等の文化財を活用した観光開発、地域活性化に取り組んでいる好事例である。

（写真撮影、筆者）

■十日町市博物館（休館日：月曜、年末年始等）

開館時間：9:00-17:00

所在地：新潟県十日町市西本町 1

Tel：025-757-5531

アクセス：JR 飯山線・ほくほく線十日町駅西口から徒歩 10 分

国内産地情報

絹織物産地の概況（7月）

織物の生産は増産と減産に二分、採算は厳しい

<原糸>

中国の原料価格は、静かな動きが続いており、安定した状態で推移している。現物の商いは総じて慎重な対応となっている。在庫はおおむね適正な状態である。

<白生地>

- ・縮緬＝丹後の7月の生産は、前年比92%で、無地は76%となり相変わらず厳しい。稼動日数は21日で前年同であった。
- ・長浜の生産は、前年比111%で前月の減産から増産に転じた。稼動日数は18日で前年より2日増であった。
- ・五泉は、生産反数が12%の増となった。
- ・福島は、受注減少により、生産、操業ともに若干落ちている。
- ・福井の生産は、広幅羽二重は前年比89%で売れ行き不調、小幅羽二重は77%で輸入品との価格格差がある。
- ・石川は、市況の冷え込みが非常に厳しく販売不振である。
- ・群馬・埼玉は、群馬が前年比93%、埼玉が前年比96%といずれも減少した。

<先染織物>

- ・帯＝西陣は、生産は不需要期でも機場維持のため大きくは減っていない。売行きは、値頃品の中の特に安価な商品、値頃感のある中高額品は在庫リスクの低さから比較的売れているようだ。
- ・博多は紋袋帯、紋八寸名古屋帯が増産、四寸単帯が前年同となったが、全体で17%減となった。
- ・十日町は、売れ行きは振袖、訪問着、留袖が好調であった。生産は留袖と振袖が前年を大きく上回ったが、全体では前年の2%増となった。
- ・米沢は、呉服は産地問屋からの発注も鈍く減産状況、服地は内地物の高級素材や特別な撚糸を使用した物の発注が見られるがロットが細く納期も厳しい。輸出物の状況はあまり良くないが荷動きは少し見られる。採算は生産量が少なく苦しい状況である。
- ・山梨は、服地は高級品の売れ行きが良くない。生産量も少ない。ネクタイは、一部に動きはあるが全体としては生産量は少ない。採算は良くない。
- ・西陣のネクタイは、秋物の追加発注も無く来春のサンプル取りに終始している。

（7/1～31の概要）

＊（社）日本生糸問屋協会「月報」24.8.10、第763号による。

海外シルク情報

中国

中国の昨年度繭生産状況

中国シルク産業の監督官庁である商務部繭絲綢協調弁公室統計によれば、2011 年度の繭生産状況は、次のとおりである。

1. 桑園面積：82.7 万ヘクタール（前年比 1.8%増）
2. 蚕種掃立量：1,627 万枚（前年比 3.7%増）
3. 家蚕繭生産量：63.9 万トン（前年比 2.6%増）
4. 家蚕繭収繭量：59.7 万トン（前年比 4.9%増）
5. 家蚕繭農家買上げ価格（年間平均）：34.0 元/kg（＝ 442 円/kg）
（前年比 11.9%増加で、これは史上最高価格を記録）

主要産地別の家蚕繭生産量は、トップ 5 位を順に掲げると次のとおりである。

- ①広西自治区：231,000 トン（前年比 7.8%増）
- ②四川省：74,000 トン（前年比 4.2%増）
- ③江蘇省：65,597 トン（前年比 14.9%減）
- ④広東省：57,117 トン（前年比 45%増）
- ⑤浙江省：50,886 トン（前年比 11%減）

広西自治区は、東桑西移政策が推進されていることから、2005 年以降、中国最大の繭生産地を維持しており、2011 年では全国生産量の 36%を占めている。一方、東部沿海産地は、工業化の進展による環境汚染、土地等の物価上昇及び農村労働力の欠乏から減産傾向に歯止めがかからず、昨年の江蘇省の繭生産は前年比約 15%も減産している。

中国でも稚蚕人工飼料育養蚕が一部実用化段階へ

稚蚕人工飼料育養蚕は、養蚕業経営上の一大革新技术であり、日本ではほとんど普及しているものである。家蚕の桑葉による飼育では、季節と自然条件の制限がある。

一方、人工飼料育は給餌回数が少なく飼育労働力を大幅に削減することが可能であり、また、桑葉の農薬被害を防止し蚕病感染を減少することも可能で、蚕作が安定し経営改善に貢献できるものである。

中国においても、主要産地でありながら、工業化の進展等もあって人件費コストの上昇、公害の発生から昨今、繭・生糸の生産が減少傾向にある浙江省において、この稚蚕人工飼料育が実用化に向けてスタートしたとのニュースが入ったので紹介する。

浙江省淳安县シルク公司では、稚蚕人工飼料育を過去三年間にわたって省内外のシルク研究機関と技術協力をして研究してきた。現在、基本的な飼育方法は確立され、実用化段階に進展しつつある。

これまでのテスト結果によれば、全齡桑使用育に較べて平均繭収量は多くなり、一回飼育当たりの労働力は 0.5 人程度減少することができる。ただし、現段階ではコストは桑使用育に較べて高価になると伝えてきており、今後の普及動向が注目される。

(注) 円換算は 1 元 = 13 円。

* (社) 日本生糸問屋協会「月報」24.7.17 第 762 号及び 24.8.10 第 763 号による。

イベント情報

イベント名	企画・展示内容	開催日(期間)	場所・主催者等
○第9回 『日本の絹展』 ～伝統工芸から 創作デザインまで 染・織で綾なす 美と技の祭典～	染織作家・工房等の和装、洋装の純国産絹製品を中心に日本伝統文化を代表する、きもの、帯から斬新な洋装品までを一堂に展示し、その素晴らしさを紹介します。 純国産絹製品コーナーを設け、国産繭、生糸から作られた純国産絹製品を展示します。 実演：蚕の飼育、座繰り繰糸 入場無料	平成24年 10月18日(木) ～23日(火)	開催場所 高島屋東京店 (日本橋高島屋) 8階 エクセレント ルーム 主 催 (社)日本絹業協会 後援 財団法人大日本蚕糸会、一般社団法人日本絹人繊維物工業会、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会
○日本絹の里 第23回企画展 『源氏物語と 優美な衣裳』 —光源氏の舞・ 紅葉賀より—	平安時代中期に紫式部によって書かれた「源氏物語」とその絵巻には当時の装束や文化が紹介されており、宮廷生活の様子や貴族文化を今に伝えています。 本展では、この「源氏物語」に描かれた平安貴族の装束文化や、華やかな女房装束が完成されていくまでの変遷などに焦点をあて、平安時代の雅やかな世界と絹糸が織りなす装束の美しさをご覧ください。	平成24年 9月5日(水) ～10月22日(月) 午前9:30～ 午後5:00 休館日 毎週火曜日 入館料 一 般 400円 大高生 250円 中学生以下 無料 (団体割引あり)	開催場所 群馬県立 日本絹の里 群馬県高崎市金古町 888-1 TEL 027-360-6300

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

純国産絹マーク使用許諾者及び主な絹製品名一覧

平成 24 年 8 月 6 日現在

表示者登録番号	企 業 名	主な絹製品名
1	株式会社 千總	後染反物（振袖、訪問着、付下、色無地、黒留袖、喪服）、胴裏
2	株式会社 織匠田歌	先染反物、後染帯地
3	有限会社 ミラノリブ	洋装品（婦人服（トップス、ボトム）、ネクタイ、ニットタイ、ベスト、服飾品（ソックス、ショール、ストール、スカーフ））
4	株式会社 丸上	後染反物（色無地、小紋、付下、黒紋付）、後染帯地
5	株式会社 坂本屋	後染反物（色無地）、胴裏（灰汁浸け加工）
6	有限会社 平原	後染反物（色無地、黒紋付）
7	株式会社 信盛堂	後染反物（色無地、黒紋付）
8	株式会社 きものアイ	後染反物（色無地）
9	株式会社 上庵	後染反物（色無地、黒紋付）
10	有限会社 樹	後染反物（色無地、黒紋付）
11	株式会社 銀座もとじ	後染反物（作家作品）、先染反物（大島紬、結城紬、御召、作家作品）、先染帯地（織九寸帯）、後染帯地、白生地、和装小物（帯締、羽織紐）、八掛
12	河瀬満織物 株式会社	先染帯地
13	有限会社 織匠小平	先染帯地
15	株式会社 結華	後染反物（色無地、黒紋付）
16	株式会社 絹回廊	後染反物（色無地）
17	有限会社 琴路屋	後染反物（色無地、黒紋付）
18	有限会社 大善屋呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地
19	丸善本店	後染反物（色無地、黒紋付）
20	呉服のささき	後染反物（色無地、黒紋付）
21	日本蚕糸絹業開発協同組合	裏地（胴裏（ぐんま羽二重、ぐんまレピア、灰汁浸加工、トルマリン加工）、八掛、比翼地）、長襦袢地、後染反物（作家作品、紋付地）、白生地（世紀 21）、後染帯地（（冬物、夏物）うるし糸が 5% を超えるもの）、寝衣（うぶ着、おくるみ）、和装小物（袱紗）
22	宮階織物 株式会社	先染反物、後染反物
23	21 世紀の絹を考える会	後染反物（色無地、訪問着）、先染帯地（袋帯（草木染、唐織））
24	碓氷製糸農業協同組合	白生地、マフラー
25	丸幸織物 有限会社	白生地
26	織匠 万勝	先染帯地（袋帯、名古屋帯）、先染反物（御召類）、後染反物、先染帯地（袋帯：金銀糸が 5% を超えるもの）
27	有限会社 織道楽塩野屋	洋装品（マフラー、シャツ、ニット（ウオーマー・腹巻、手袋、靴下））
28	株式会社 丸万中尾	後染反物（江戸小紋、友禅、色無地）、後染帯地
29	株式会社 むらかね	後染反物（色無地、黒紋付）
30	株式会社 高島屋	後染反物（振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖）、長襦袢地
31	株式会社 さが美	後染反物（黒紋付（冬用・夏用）、色無地）
32	有限会社 まるけい	後染反物（色無地、黒紋付）
33	有限会社 特選呉服専門店後藤	後染反物（色無地、黒紋付）
34	株式会社 小いけ	後染反物（色無地、黒紋付、小紋）
35	株式会社 伊と幸	後染反物（色無地）、後染帯地、白生地（表地）、胴裏
36	株式会社 四季のきもの おおにし	後染反物（色無地、黒紋付）、後染帯地
37	株式会社 和幸	後染反物（色無地、黒紋付）
38	株式会社 榎屋高尾	先染帯地（袋帯）
39	株式会社 つるや	後染反物（色無地、黒紋付）
40	株式会社 越後屋	後染反物（色無地、黒紋付）
41	株式会社 小倉商店	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）、白生地（結城紬）
42	染織家 柳崇	先染反物、先染帯地
43	染織家 児玉京子	先染反物
44	草木染工房 山村	先染反物、先染帯地、ストール

表示者登録番号	企 業 名	主な絹製品名
45	手織り よおん	先染反物、先染帯地
46	祝嶺染織研究所	先染反物、先染帯地
47	株式会社 龍工房	帯締
48	からん工房	先染反物（紋紹、緋）、先染帯地
49	たわた工房	先染反物、先染帯地
50	山音 株式会社	後染反物（色無地（変三越、駒紹））
51	やまと 株式会社	後染反物
52	株式会社 御菌織物	先染反物、先染帯地
53	桜井 株式会社	先染帯地
54	有栖川織物 有限会社	先染帯地
55	太田和 株式会社	結城紬（先染反物、先染帯地）
56	株式会社 岩田	先染帯地
57	有限会社 神原呉服店	後染反物（色無地、黒紋付）
58	浅山織物 株式会社	先染帯地
59	株式会社 やまと	先染帯地、先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
60	田中種 株式会社	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、黒紋付、加賀友禅）、後染帯地（九寸名古屋帯）
61	株式会社 京扇	後染反物（色無地）、胴裏（パールトーン加工）
62	株式会社 なごみや	後染反物（色無地、黒紋付）
63	丸池藤井 株式会社	後染反物（色無地）、八掛
64	久保商事 株式会社	和装小物（帯揚げ、半衿）
65	加賀グンゼ 株式会社	胴裏
66	千切屋 株式会社	後染反物（訪問着、付下）、後染帯地
67	荒川 株式会社	和装小物（帯締、帯揚げ）
68	第一衣料 株式会社	後染反物（色無地）
69	株式会社 紅輪	後染反物（色無地）
70	装いの道 株式会社	後染反物（本藍染、江戸更紗、京友禅）、後染帯地、白生地、胴裏（トルマリン加工、灰汁浸け加工、ぐんま 200、新小石丸）
71	株式会社 高橋屋	胴裏（灰汁浸け加工）
72	おお又 株式会社	胴裏（灰汁浸け加工）
73	株式会社 天野屋呉服店	胴裏（ぐんま 200（灰汁浸け加工））、白生地
74	株式会社 きもの潮見	胴裏（パールトーン加工）
75	株式会社 とみひろ	胴裏（酵素精練）
76	株式会社 細安	胴裏（酵素精練）
77	京和きもの 株式会社	胴裏（酵素精練）
78	株式会社 まるため	胴裏（トルマリン加工、パーリー加工）
79	株式会社 小川屋	胴裏（トルマリン加工、灰汁浸け加工）
80	株式会社 エムラ	胴裏（酵素精練）
81	株式会社 荒井呉服店	胴裏（酵素精練）
82	株式会社 牛島屋	胴裏（酵素精練）、後染反物（小紋）
83	株式会社 谷呉服店	胴裏（酵素精練）
84	株式会社 登美屋	胴裏（パールトーン加工）
85	株式会社 川平屋	胴裏（パールトーン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
86	丸専第一衣料 株式会社（丸専きもの）	胴裏（パールトーン加工）
87	株式会社 大丸松坂屋百貨店	裏地（胴裏、比翼地（振袖用））、長襦袢地
88	西陣織工業組合	マフラー

表示者登録番号	企 業 名	主な絹製品名
89	株式会社 あきやま	先染反物、洋装品（ショール、マフラー）
90	藤井綾 株式会社	後染反物（色無地）
91	株式会社 川まん	白生地
92	有限会社 結城屋	白生地
93	株式会社 ウメショウ	白生地
94	株式会社 大徳	後染反物（色無地）
95	有限会社 カシワギ	寝具寝装品（冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット）、洋装品（スーツ地、ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、シャツ））
96	株式会社 北尾織物匠	先染帯地（袋帯、名古屋帯）
97	株式会社 平田組紐	帯締、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）、羽織紐（男物、女物）
98	株式会社 菱健	後染反物（色無地）
99	西野 株式会社	帯締、帯締（金銀糸が5%を超えるもの）
100	京商 株式会社	後染反物（色無地、黒紋付）
101	株式会社 猪井	後染反物
102	株式会社 たちばな	後染反物
103	株式会社 丸富美	後染反物（色無地）
104	株式会社 絹もの屋まつなが	後染反物（色無地）
105	株式会社 山正山崎	後染反物（色無地）
106	有限会社 こくぶん呉服店	後染反物（色無地）
107	株式会社 染織近藤	後染反物（色無地）
108	株式会社 宮川呉服店	後染反物（色無地、付下）
109	株式会社 和らいふ	後染反物（色無地）
110	有限会社 きものいなもと	後染反物（色無地）
111	株式会社 世きね	後染反物
112	株式会社 西陣まいづる	先染帯地（袋帯（金銀糸が5%を超えるもの）、絹九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの））
113	奥順 株式会社	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリット）
115	有限会社 金屋	後染反物（色無地）
116	株式会社 鶴屋百貨店	胴裏（酵素精練）、先染反物（結城紬）
117	黄八丈めゆ工房	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	後染反物（色無地）
119	合資会社 車屋呉服店	後染反物（色無地、江戸小紋）
120	宮崎 株式会社	結城紬
121	有限会社 内海呉服店きもの千歳屋	白生地
122	長島繊維 株式会社	後染反物（色無地）、後染帯地
123	株式会社 しょう美	後染反物（色無地）
124	合資会社 治田呉服店	後染反物（色無地）
125	株式会社 丸十	後染反物（小紋）
126	株式会社 竹田嘉兵衛商店	胴裏（酵素精練）
127	有限会社 樋口屋京染店	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）
129	株式会社 加藤萬	和装小物（帯揚げ、半衿）
130	株式会社 しゃらく	後染反物（小紋）
131	合資会社 山中商店	後染反物（小紋）
132	きもの処 あだち	後染反物（小紋）

表示者登録番号	企 業 名	主な絹製品名
133	西川産業 株式会社	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房 華美	寝衣（長肌着、短肌着）
135	株式会社 青山みとも	胴裏（酵素精練）
136	株式会社 和想	後染反物（小紋）
137	株式会社 高島屋呉服店	後染反物（小紋）
138	富岡シルクブランド協議会	ネクタイ、禪
139	株式会社 丸年呉服店	後染反物（小紋）
140	株式会社 染織館	後染反物（小紋）
141	株式会社 京ろまん	後染反物（小紋）
142	五嶋 株式会社	帯締
143	株式会社 わふくや	長襦袢地
144	株式会社 布屋呉服店	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋）
145	有限会社 明石屋	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井 株式会社	風呂敷
147	株式会社 ナカノ	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	株式会社 芦田呉服店	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	株式会社 甲斐絹座	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ
150	有限会社 さいとう呉服店	後染反物（色無地、付下）
151	株式会社 西松屋	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	株式会社 西尾呉服店	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物 株式会社	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	有限会社 石川	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
155	東朋 株式会社	ストール
156	那覇伝統織物事業協同組合	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	株式会社 ふじや	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
158	きものおかだ	後染反物（小紋）
159	株式会社 J S	寝具寝装品（ふとん、ふとんカバー）、洋装品（スーツ地、コート地、スカート地、服飾品（スカーフ、ストール、シャツ））
160	株式会社 マルシバ	裏地（胴裏）、和装小物（袱紗）
161	株式会社 みつわ	後染反物（小紋）
162	福続織物株式会社	先染帯地（本袋男帯）
163	株式会社 大谷屋	白生地（表地）
164	株式会社 東京藤屋（きものレディ着付学院）	白生地（表地）
165	株式会社 染織こうげい	白生地（表地）
166	近江真綿振興会	寝具寝装品（布団、膝かけ）
167	株式会社 にしむら	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	有限会社 きものおおにし	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	株式会社 コノエ	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））

蚕糸関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
蚕糸・織物関連の展示を目的としている施設			
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-22-1325
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地 (敷島公園バラ園内)	027-231-9875
織物参考館「紫」(ゆかり)	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
きもの芸術館 (財) 日本きもの文化協会	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ~ 8F	03-3400-0286
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2-24-16	042-388-7163
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3-22-7	03-3299-2387
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989-2	0426-76-4064
シルク博物館	231-0023	神奈川県横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
岡谷蚕糸博物館	394-0028	長野県岡谷市本町 4 丁目 1 番 39 号	0266-22-5854
浦野染織資料博物館	393-0066	長野県諏訪郡下諏訪町曙町 5350	0266-27-8503
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1-10-3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
キナーレきもの歴史館	948-0003	新潟県十日町市本町 6 十日町ステージ越後妻有交流館内	0257-52-0117
まゆの資料館	410-3612	静岡県賀茂郡松崎町宮内 263-2	0558-42-3912
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109-1	0532-52-5265
川島織物セルコン、織物文化館	601-1123	京都府京都市左京区静海市原町 265	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都府京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
織成館	602-8482	京都府京都市上京区浄福寺通上立売上の大黒町 693 番地	075-431-0020
絹の白生地資料館	604-8176	京都府京都市中京区御池通室町東入る竜池町 448-2 伊と幸ビル	075-254-5884
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050
上垣守国養蚕記念館	667-0311	兵庫県養父市大屋町大家市場 117	0796-69-1580
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町甲 1577 番地	0889-26-1002
展示の一部に蚕糸・織物関連がある施設			
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204-1	059-293-0010
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
大間々町歴史民族館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619-1	055-269-3399
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196-1	0263-47-4515
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564-1	0268-42-2158
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299-1	0574-28-1110
その他関連施設			
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
夕鶴の里資料館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025-2	0238-47-5800
松ヶ丘開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ丘 29	0235-62-3985
結城紬関連施設 (結城市伝統工芸館)	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018-1	0296-32-7949
たくみの里木織の家「椽」(つるばみ)	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-1308
おかいこステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344-1235	027-340-6060
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3-26-2	0424-81-7656
相模田名民家資料館	229-1124	神奈川県相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618-4	0263-83-3835
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227-1	0257-82-4888
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25	0258-83-4800
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村又 17	076-259-2859
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織元田勇 (田勇機業株式会社)	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112	0772-72-0307
まゆ村	616-8384	京都府京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
シルク染め織り館	699-5216	島根県鹿足郡津和野町池村 1997-4	0856-74-0784

蚕糸関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp/>

【蚕糸絹業関係団体】

(財) 大日本蚕糸会
(社) 日本絹業協会 (シヤパソルクセンタ-)
(社) 日本生糸問屋協会
(財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
京都和装産業振興財団
(財) 伝統的工芸品産業振興協会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://homepage1.nifty.com/nittonkyo/>
<http://www.mawata.or.jp/>
<http://www.tanko.or.jp/>
<http://www.nishijin.or.jp/>
<http://www.taifs.or.jp/>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp/>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougei.or.jp/>

【大学・試験研究機関】

(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室
<http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科
<http://www.tuat.ac.jp/~aaseisan/>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科
<http://www.tuat.ac.jp/~seimei/>
(国) 京都工芸繊維大学工芸科学部応用生物学課程
<http://www.bio.kit.ac.jp/>
(国) 京都工芸繊維大学
<http://www.kit.ac.jp/>
(国) 信州大学繊維学部
<http://www.tex.shinshu-u.ac.jp/>
(国) 名古屋大学農学部
<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学講座
http://www.hokudai.ac.jp/agricu/organization/bunya/l_in_bunshi_seibuts.html
(国) 九州大学大学院遺伝育種学講座蚕学研究室
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/agpm/sangaku/>
(国) 九州大学大学院遺伝子資源工学専攻
http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/grt/igr/new_lab/index.html
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース
<http://www.news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement/bio/biofunc/index.html>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学科
<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(独) 農業生物資源研究所
<http://www.nias.affrc.go.jp>
(財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学研究所
http://www.silk.or.jp/silk_kagaku/index.html
(財) 大日本蚕糸会 蚕業技術研究所
http://www.silk.or.jp/silk_gijyutu/index.html
群馬県蚕糸技術センター (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>蚕糸技術センター)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=50545
群馬県繊維工業試験場 (群馬県トップページ>産業・労働>試験研究>繊維工業試験場)
http://www.pref.gunma.jp/cts/PortalServlet?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=59241
京都府織物・機械金属振興センター
<http://www.silk.pref.kyoto.jp/index-sub.html>
京都市産業技術研究所繊維技術センター
<http://www.ktri.city.kyoto.jp/mainpage/sikenjo.html>

【学 会】

日本シルク学会
日本蚕糸学会

<http://www.silk.or.jp/ssstj/>
<http://www.soc.nii.ac.jp/~jsss2/>

【博物館】

(財) シルクセンタ-国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市立野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkmuseum.or.jp/>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp/>
[http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk.](http://www.city.seiyo.ehime.jp/silk/)
<http://www.tuat.ac.jp/~museum/index.html>

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	45
(2) 養蚕農家数の推移	46
(3) 繭生産数量の推移	47
(4) 平成23年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	48
(5) 平成23年度蚕期別、都府県別繭生産数量	49
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移(2009～2011年)	50
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	51
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	52
(9) 国産生糸価格実態	53
(10) 絹需給の推移(生糸量換算試算)	55
(11) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)	56
(12) 製糸工場の原料繭需給	57
(13) 製糸工場の操業状況	58
(14) 生糸在庫数量の内訳	59
(15) 蚕糸関係品目別輸入状況	60
(16) 生糸の原産国別輸入数量	61
(17) 絹糸の原産国別輸入数量	62
(18) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	63
(19) 絹織物生産数量	64
(20) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	65
(21) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況	66

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	67
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	68
(3) 中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数	69
(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移	70
(5) 中国のシルク類(生糸・絹糸・絹織物)の輸出状況	71
(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率	72
(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及び対前年増減率	73
(8) 中国産業別従業員年平均賃金の推移	74
(9) 中国省別従業員年平均賃金(2010年)	75
(10) ブラジルの繭・生糸生産数量の推移	76
(11) ブラジルの繭、生糸・絹撚糸、絹織物の生産、輸入及び輸出状況	77

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次 (暦年) Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台 数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
1996 8年	7,890	3,021	383	42.7	26	58	84.7	53,815
1997 9年	6,310	2,516	399	31.5	18	67	81.6	52,031
1998 10年	5,070	1,980	390	18.4	13	76	74.5	38,673
1999 11年	4,030	1,496	371	10.8	8	73	67.4	33,425
2000 12年	3,280	1,244	379	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 13年	2,730	1,031	378	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 14年	2,360	880	373	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 15年	2,070	780	377	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 16年	1,850	683	369	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 17年	1,591	626	393	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 18年	1,345	505	375	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 19年	1,169	433	370	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 20年	1,021	382	374	1.6	7	80	38.1	14,043
2009 21年	915	327	357	1.2	7	60	33.6	11,472
2010 22年	756	265	351	0.9	7	49	35.9	11,612
2011 23年	621	220	354	0.7	7	50	34.7	10,419
前年対比 (%) 2011/10	82.1	83.0	100.9	77.8	100.0	102.0	96.7	89.7

資料 ・平成20年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。
 ・平成21年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び(財)大日本蚕糸会調査である。
 ・平成21年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会調査である。
 ・平成20年以前の絹業は経済産業省調査であり、平成21年以降絹業は(社)日本絹人織機物工業会調査である。
 平成18年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。
 ・平成23年以降の養蚕業は(財)大日本蚕糸会調査である。

(注) 製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、平成14年以降はすべての製糸工場のもの
 である。

Source: ・Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)
 ・National Federation of Agricultural Co-operative Associations and The Dainippon Silk Foundation (Sericultural Industry, after 2009)
 ・Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)
 ・The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008)
 ・Japan Silk & Rayon Weaver's Association (Silk Fabric, after 2009)

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)
(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
1993		27,180	24,160	17,450	20,740
1994		19,040	16,790	13,190	14,790
1995		13,640	12,450	9,560	9,580
1996		7,890	6,980	5,000	6,290
1997		6,310	5,650	4,420	5,120
1998		5,070	4,550	3,750	4,120
1999		4,030	3,600	2,710	3,280
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		621	555	357	526
対前年比 2011/10(%)		82.1	85.4	72.3	82.6

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、
農林水産省生産局調査（2005～2008年）、(財)大日本蚕糸会調査(2009年～)。

Source : The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).
National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).
The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).
The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

年 次 Year	項 目 Item	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕	年 間	春 蚕	初秋蚕	晩秋蚕
		Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm	Annual total	Spring silk-worm	early autumn silk-worm	Late autumn silk-worm
		t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
1993		11,212	4,624	3,060	3,529	412	191	175	170
1994		7,724	3,036	2,044	2,644	406	181	155	170
1995		5,350	2,222	1,477	1,651	392	178	155	172
1996		3,021	1,184	747	1,090	382	170	149	173
1997		2,516	982	678	857	398	174	153	167
1998		1,980	769	588	623	390	169	157	151
1999		1,496	596	391	509	371	166	144	155
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	354	171	137	144
対前年比 2011/10 (%)		83.0	88.8	81.7	77.6	100.9	103.6	113.2	93.5
構成比 (%)		100.0	43.2	22.3	34.5				

資 料：農林水産省統計情報部調査（～2001年）、全国農業協同組合連合会調査（2002年～2004年）、

農林水産省生産局調査（2005～2008年）、（財）大日本蚕糸会調査（2009年～）。

Source：The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008年).

The Dainippon Silk Foundation (2009年～)

(4) 平成23年度蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures in 2011.

(単位:戸、%)

都府県名	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比
青森県	1	0	－	1	1	100.0	1	1	100.0	1	1	100.0
岩手県	15	16	106.7	23	19	82.6	23	22	95.7	27	23	85.2
宮城県	21	16	76.2	17	16	94.1	21	17	81.0	28	22	78.6
山形県	10	9	90.0	9	7	77.8	9	8	88.9	11	10	90.9
福島県	71	51	71.8	65	44	67.7	76	56	73.7	83	60	72.3
茨城県	18	24	133.3	20	23	115.0	20	21	105.0	36	27	75.0
栃木県	37	33	89.2	25	24	96.0	38	31	81.6	40	33	82.5
群馬県	283	239	84.5	216	139	64.4	275	227	82.5	314	261	83.1
埼玉県	63	53	84.1	48	39	81.3	59	51	86.4	68	57	83.8
千葉県	10	7	70.0	7	5	71.4	8	8	100.0	11	8	72.7
東京都	6	5	83.3	0	0	－	5	4	80.0	7	6	85.7
神奈川県	9	0	－	10	0	－	10	0	－	12	12	100.0
新潟県	1	10	1000.0	1	2	200.0	1	0	－	1	10	1000.0
山梨県	24	24	100.0	7	9	128.6	21	20	95.2	27	26	96.3
長野県	28	23	82.1	19	17	89.5	25	21	92.6	31	26	83.9
岐阜県	18	14	77.8	8	0	－	17	17	84.0	21	18	85.7
愛知県	1	1	100.0	0	1	－	0	0	－	1	1	100.0
兵庫県	1	1	100.0	1	1	100.0	1	0	－	1	1	100.0
愛媛県	17	15	88.2	15	10	66.7	18	12	66.7	19	17	89.5
高知県	4	4	100.0	0	0	－	3	2	66.7	5	4	80.0
熊本県	8	5	62.5	2	0	－	4	3	75.0	8	5	62.5
宮崎県	4	2	50.0	0	0	－	2	2	100.0	4	2	50.0
鹿児島県	0	3	300.0	0	0	－	0	3	300.0	0	3	300.0
全国計	650	555	85.4	494	357	72.3	637	526	82.6	756	621	82.1

資料:大日本蚕糸会調査

Source:The Dainippon Silk Foundation

(5) 平成23年度蚕期別、都府県別繭生産数量

Cocoon production by prefectures in 2011.

(単位: kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比	22年	23年	前年対比
青森県	-	-	-	137.4	156.3	113.8%	144.7	119.3	82.4%	282.1	275.6	97.7%
岩手県	2,017.6	1,977.5	98.0%	2,783.7	2,318.9	83.3%	3,049.7	2,474.0	81.1%	7,851.0	6,770.4	86.2%
宮城県	2,755.5	2,127.1	77.2%	2,335.9	2,341.8	100.3%	3,046.5	2,248.6	73.8%	8,137.9	6,717.5	82.5%
山形県	1,649.3	1,315.2	79.7%	761.7	767.4	100.7%	1,254.4	1,638.3	130.6%	3,665.4	3,720.9	101.5%
福島県	12,488.4	11,519.5	92.2%	11,946.4	8,972.5	75.1%	16,645.2	13,617.0	81.8%	41,080.0	34,109.0	83.0%
茨城県	3,672.0	4,486.0	122.2%	2,653.6	2,323.2	87.5%	3,181.4	3,028.4	95.2%	9,507.0	9,837.6	103.5%
栃木県	12,003.5	11,488.4	95.7%	4,465.3	5,259.7	117.8%	14,350.8	9,370.2	65.3%	30,819.6	26,118.3	84.7%
群馬県	49,138.1	42,178.0	85.8%	23,357.1	18,729.3	80.2%	38,871.7	28,938.0	74.4%	111,366.9	89,845.3	80.7%
埼玉県	9,018.9	7,692.5	85.3%	4,968.6	3,308.7	66.6%	6,903.5	6,061.7	87.8%	20,891.0	17,062.9	81.7%
千葉県	1,263.6	1,168.6	92.5%	671.7	569.4	84.8%	1,310.9	1,113.4	84.9%	3,246.2	2,851.4	87.8%
東京都	543.1	386.0	71.1%	-	-	-	342.3	163.3	47.7%	885.4	549.3	62.0%
神奈川県	884.8	-	-	584.8	-	-	637.9	-	-	2107.5	-	-
山梨県	3,851.7	3,665.7	95.2%	1,170.0	805.7	68.9%	2,508.8	2,233.2	89.0%	7,530.5	6,704.6	89.0%
長野県	3,016.2	2,714.3	90.0%	2,212.9	1,765.0	79.8%	2,533.0	2,440.2	96.3%	7,762.1	6,919.5	89.1%
新潟県	-	186.4	-	46.6	54.3	116.5%	51.9	-	-	98.5	240.7	244.4%
福井県	-	62.4	-	-	21.2	-	-	23.0	-	-	106.6	-
岐阜県	1,351.3	1,086.0	80.4%	232.8	-	-	687.4	614.1	89.3%	2,271.5	1,700.1	74.8%
愛知県	120.9	64.1	53.0%	-	-	-	-	-	-	120.9	64.1	53.0%
兵庫県	83.5	42.0	50.3%	80.0	35.0	43.8%	66.0	-	-	229.5	77.0	33.6%
京都府	102.4	111.4	108.8%	97.5	-	-	40.6	93.3	229.8%	240.5	204.7	85.1%
愛媛県	2,172.3	1,992.9	91.7%	1,183.1	1,350.5	114.1%	1,671.9	1,482.3	88.7%	5,027.3	4,825.7	96.0%
高知県	280.4	228.4	81.5%	-	-	-	128.1	86.7	67.7%	408.5	315.1	77.1%
熊本県	543.4	431.9	79.5%	-	-	-	271.6	91.8	33.8%	815.0	523.7	64.3%
宮崎県	136.6	115.2	84.3%	-	-	-	62.7	67.3	107.3%	199.3	182.5	91.6%
鹿児島県	-	1.5	-	-	-	-	-	6.6	-	-	8.1	-
全国計	107,093.5	95,041.0	88.7%	59,689.1	48,778.9	81.7%	97,761.0	75,910.7	77.6%	264,543.6	219,730.6	83.1%

資料: (財) 大日本蚕糸会調査

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移 (2009～2011年)

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item Year	2009年 (平成21年)		2010年 (平成22年)		2011年 (平成23年)	
	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦秋1号 × 鐘和1号	4,803	36.9	3,420	26.3	3,420	26.3
錦秋 × 鐘和	2,400	18.5	2,400	18.5	2,400	18.5
春嶺1号 × 鐘月1号	1,565	12.0	2,072	15.9	2,072	15.9
ぐんま 200	1,622	12.5	1,627	12.5	1,627	12.5
春嶺 × 鐘月	900	6.9	1,001	7.7	1,001	7.7
かいりょう × あけぼの	442	3.4	487	3.7	487	3.7
新小石丸	317	2.4	355	2.7	355	2.7
芙蓉 × つくばね	300	2.3	300	2.3	300	2.3
上州絹星	204	1.6	51	0.4	51	0.4
世紀二一	218	1.7	191	1.5	191	1.5
緑繭 1号	129	1.0	56	0.4	56	0.4
プラチナボーイ	71	0.5	73	0.6	73	0.6
朝日 × 東海	100	0.8				
朝日 × つくばね	100	0.8	100	0.8	100	0.8
ぐんま 黄金	117	0.9	152	1.2	152	1.2
改良小石丸	87	0.7	87	0.7	87	0.7
白繭 細 1号	60	0.5	115	0.9	115	0.9
小石丸	39	0.3	27	0.2	27	0.2
蚕技 研 10号						
蚕技 研 11号	54	0.4	26	0.2	26	0.2
蚕技 研 11号	61	0.5	53	0.4	53	0.4
分離白1号 × 支 106号	9	0.1	8	0.1	8	0.1
白繭 細 2号	20	0.2				
新極細 1号	9	0.1	14	0.1	14	0.1
極細 1号	21	0.2	30	0.2	30	0.2
玉小石山	33	0.3	16	0.1	16	0.1
鷹 29	29	0.2	25	0.2	25	0.2
支 21号 × 四 川 3眠	6	0.0	4	0.0	4	0.0
又昔 × 中 515号	6	0.0	5	0.0	5	0.0
青熟 × 支 21号	6	0.0	6	0.0	6	0.0
諸桂 × 紹 興	4	0.0	4	0.0	4	0.0
黄 5	5	0.0	5	0.0	5	0.0
天竜青白 × 支 108号						
青熟 × 中 515号	2	0.0	3	0.0	3	0.0
鬼縮 × 中 515号	4	0.0	1	0.0	1	0.0
青白 × 中 515号						
山東三眠 × 中 515号						
松岡 姫			200	1.5	200	1.5
いろど			39	0.3	39	0.3
鐘光 × 黄玉			35	0.3	35	0.3
太平 × 長安			7	0.1	7	0.1
支 108号 × 青熟	2	0.0	5	0.0	5	0.0
合計 Total	13,745	105.7	13,000	100.0	13,000	100.0

資料：(財)大日本蚕糸会調査。

Source：The Dainippon Silk Foundation.

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export Balance of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2005	2,508	22,017	4,125	26,429	8,178	32,700	609	15,999	8,252
2006	1,956	19,974	—	20,752	9,356	31,524	568	12,959	7,578
2007	1,747	12,601	—	15,624	7,879	19,439	404	11,355	7,184
2008	1,588	15,031	—	20,115	4,584	22,636	466	11,640	7,126
2009	1,152	12,085	—	13,766	4,055	16,647	388	8,996	6,269
2010	882	12,209	—	13,817	3,329	16,306	324	9,029	6,299
2011	731	9,322	—	10,926	2,456	17,526	428	8,546	6,229
生糸年度 Silk Year									
2004	3,868	20,154	11,500	27,002	7,274	30,204	565	14,130	7,286
2005	2,024	26,365	—	25,737	9,926	36,113	500	16,121	8,655
2006	1,794	13,394	—	16,873	8,241	21,561	534	10,730	7,152
2007	1,762	15,564	—	20,286	5,281	22,936	433	12,255	6,087
2008	1,378	12,137	—	14,638	4,158	18,716	378	10,320	6,806
2009	1,029	12,857	—	14,383	3,661	17,481	366	8,639	6,182
2010	814	12,207	—	13,815	2,935	16,307	324	9,000	6,299
2011 - 1	53	1,448	—	1,521	3,309	1,790	18	976	427
2	69	593	—	823	3,148	982	55	486	559
3	65	1,381	—	1,031	3,563	1,858	15	769	599
4	70	372	—	851	3,154	1,674	15	741	562
5	66	1,280	—	1,501	2,999	1,797	17	910	440
6	63	760	—	890	2,932	1,731	30	762	667
7	59	489	—	608	2,872	1,489	29	780	457
8	53	547	—	590	2,882	1,498	47	706	443
9	61	420	—	932	2,431	1,340	45	610	568
10	56	765	—	790	2,462	1,165	78	515	530
11	64	550	—	820	2,256	1,202	47	656	469
12	52	717	—	569	2,456	1,001	32	636	508
2012 1	42	1,185	—	992	2,691	1,590	39	804	291
2	47	481	—	761	2,458	758	13	242	513
3	48	870	—	970	2,467	1,143	37	782	555
4	56	0	—	491	2,032	1,092	25	564	506
5	53	1,757	—	1,494	2,348	1,531	11	668	438

資 料 : (A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局調査。(B) 財務省関税局調査、ただし96年1月から08年3月までの輸入は、農畜産業振興機構調査の実需者輸入分と一般者輸入分を合わせた数値。(F) (G) (H) (I) 財務省関税局調査。

備 考 : 1. 国内引渡数量 (D) = [前月在庫数量 + (A) + (B)] - [(C) + (E)]。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source : (A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries.

(B) The Customs Bureau, Ministry of Finance. But the figures for raw silk imports have been based on date of the Agriculture & Livestock Industries Corporation since Jan. 1996 until Mar. 2008, excluding bonded silk.

(F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Domestic deliveries (D) = [Stock at end of the previous month + (A) + (B)] - [(C) + (E)].

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項 目 Item 年 月 Year & Month	生 糸					
	計	18デニール以下	21デニール	27デニール	31デニール	その他
暦 年 Calendar Year	Total	17/19or 17/19 finer	20/22	26/28	30/32	Others
2005	2,508	8	337	834	799	527
2006	1,956	4	240	531	653	523
2007	1,747	5	259	495	514	474
2008	1,588	4	289	421	368	503
2009	1,152	1	243	392	251	262
2010	882	1	179	316	86	300
2011	729	1	188	250	89	204
生糸年度						
Silk Year						
2005	2,024	6	261	510	726	518
2006	1,794	4	269	480	562	475
2007	1,762	5	276	443	495	537
2008	1,378	1	291	447	280	360
2009	1,029	—	205	358	208	242
2010 - 6	77	—	7	36	—	34
7	76	—	11	32	2	31
8	61	—	12	24	1	24
9	60	—	29	9	7	15
10	71	—	12	27	5	27
11	72	1	6	31	—	34
12	74	—	7	24	8	35
2011 - 1	53	—	27	12	4	10
2	69	—	16	23	5	25
3	65	—	18	15	10	22
4	70	—	13	22	7	28
5	66	—	18	18	6	24
6	63	—	11	29	7	16
7	59	—	13	23	—	23
8	53	1	9	24	6	13
9	59	—	15	23	6	17
10	56	—	23	14	12	7
11	64	—	6	37	10	12
12	52	—	19	10	16	7
2012 - 1	42	—	7	9	16	10
2	47	—	15	10	17	5
3	48	—	6	33	3	6
4	56	—	17	19	11	9
5	53	—	23	8	13	9

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会(2010.4～)。

備 考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3)。Central Raw Silk Association (2010.4～)。

Remarks：Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 国産生糸価格実態

Japanese Raw Silk Actual Condition Price

単位：円／k g

(Unit : Yen/ k g)

Year & Month \ Size		21d	27d	31d	平均 Average
2005		3,870	3,173	3,107	3,383
2006		4,617	4,267	4,080	4,321
2007		3,961	3,625	3,573	3,720
2008		4,266	3,754	3,489	3,836
2009		4,171	3,598	3,136	3,635
2010		4,152	3,891	3,564	3,869
2011		5,261	4,923	5,260	5,148
2010 —	7	4,000	3,883	3,600	3,828
	8	4,256	3,893	3,814	3,988
	9	4,209	3,965	3,625	3,933
	10	4,231	4,106	3,833	4,057
	11	4,338	4,149	3,912	4,143
	12	4,329	4,336	4,002	4,222
2011 —	1	4,267	4,287	4,127	4,220
	2	4,763	4,737	4,967	4,967
	3	4,800	4,619	4,556	4,658
	4	4,942	4,593	4,865	4,800
	5	5,188	4,699	4,853	4,913
	6	5,200	5,035	4,750	4,995
	7	5,600	5,109	5,327	5,345
	8	5,602	5,106	5,586	5,431
	9	5,778	5,237	6,078	5,698
	10	5,455	5,282	5,872	5,536
	11	5,733	5,138	5,657	5,509
	12	5,800	5,257	6,043	5,700
2012 —	1	5,799	4,682	6,119	5,533
	2	5,788	5,181	6,125	5,698
	3	5,859	5,006	6,177	5,681
	4	5,907	5,391	5,693	5,664
	5	5,190	4,973	5,300	5,154

注：国産生糸価格実態は、調査対象生糸売買業者の平均取引価格である。

資料：（社）日本生糸問屋協会

Remarks : Japan raw silk actual condition price is average trade price among domestic dealers

Source : Japan Raw Silk Dealer's Association

(参考) 中国生糸電子取引値段

China Raw Silk Monthly Prices of Electric Contract Traded

生糸B類(21デニール3A)

Standard Raw Silk:21d 3A

上段単位:元/kg、下段:円/kg
(Upper Sec Unit:Yuan/kg,Lower Sec Unit:Yen/kg)

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
7月中	7月	元	318.98	318.30	322.20	321.75
		円	4,147	4,138	4,189	4,183
	8月	元	319.80	318.60	323.10	322.58
		円	4,157	4,142	4,200	4,193
	9月	元	321.30	318.75	324.75	323.78
		円	4,177	4,144	4,222	4,209
	10月	元	321.30	320.55	324.90	324.83
		円	4,177	4,167	4,224	4,223
	11月	元	321.53	320.85	325.35	325.20
		円	4,180	4,171	4,230	4,228
	12月	元	322.80	322.05	326.85	326.78
		円	4,196	4,187	4,249	4,248
	1月	元	324.38	324.08	328.35	328.20
		円	4,217	4,213	4,269	4,267
	3月	元	328.50	325.28	333.30	332.18
		円	4,271	4,229	4,333	4,318
	5月	元	325.80	325.80	331.50	331.35
		円	4,235	4,235	4,310	4,308

	限月 Month	単位	始値 Open	安値 Low	高値 High	終値 Close
8月中	8月	元	332.25	331.65	333.90	332.78
		円	4,319	4,311	4,341	4,326
	9月	元	332.55	331.80	335.18	332.48
		円	4,323	4,313	4,357	4,322
	10月	元	333.45	333.45	335.03	334.80
		円	4,335	4,335	4,355	4,352
	11月	元	335.10	335.10	337.35	337.05
		円	4,356	4,356	4,386	4,382
	12月	元	338.10	338.10	340.50	340.05
		円	4,395	4,395	4,427	4,421
	1月	元	340.43	340.43	342.53	341.93
		円	4,426	4,426	4,453	4,445
	3月	元	342.90	340.88	345.38	341.78
		円	4,458	4,431	4,490	4,443
	5月	元	341.55	341.40	344.03	343.73
		円	4,440	4,438	4,472	4,468
	7月	元	341.18	341.18	343.05	342.90
		円	4,435	4,435	4,460	4,458

円換算レートは、1元=13.00円である。

資料: 中国繭絲綢交易市場(浙江省嘉興)

Remarks: Rate 1Yuan = 13.00Yen

Source: China Silk Exchange (Zhejiang Sheng Jia Xing)

(10) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					二 次 The Second	輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	計 ③ Total		生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second				
1990	462	164	95	203	35	16	59	93	290	13	—	0	9	4	277	172
1991	494	172	92	230	46	29	62	93	327	11	0	0	7	4	316	167
1992	460	167	85	208	26	21	60	101	308	11	—	0	7	4	297	152
1993	483	152	71	260	25	38	65	132	345	11	—	0	7	4	334	138
1994	525	138	65	322	26	37	64	195	390	10	—	0	7	3	380	135
1995	515	135	54	326	30	31	61	204	377	11	0	1	8	2	366	138
1996	507	138	43	326	35	49	62	180	374	13	0	0	9	4	361	133
1997	401	133	32	236	34	35	43	124	270	14	0	0	11	3	256	131
1998	345	131	18	196	28	23	28	117	222	13	0	0	11	2	209	123
1999	361	123	11	227	41	28	31	127	242	13	0	0	11	2	229	119
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	152	16	0	0	15	1	136	43
対前年比 2010/09 (%)	95	75	100	102	100	100	107	102	80	100	—	—	100	100	78	91

資 料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報より、農林水産省生産局がとりまとめたものである。

ただし、2000年以降は農林水産省生産局の協力により、(社)日本生糸問屋協会が試算推計したものである。

Source："Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics" (arranged by Agricultural Production Bureau, MAFF)

After 2000, estimated by Japan Raw Silk Dealer's Association through collaboration with Agricultural Production, Bureau MAFF.

(11) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

（単位：千俵）

(Unit: 1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2005	2006	2007	2008	2009	2010	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		2.7	3.7	3.9	2.5	1.8	2.8	155.6	2.1
	女子用外衣類 Women's upper garments		59.9	56.6	50.0	40.2	37.1	38.4	103.5	28.9
	うちブラウス Blouse of the inside		3.7	3.5	3.0	3.4	2.8	2.4	85.7	1.8
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		5.8	5.7	2.2	1.6	1.1	1.0	90.9	0.8
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		16.1	15.1	15.0	16.3	13.5	13.9	103.0	10.5
	ハンカチ Handkerchief		1.9	1.0	0.5	0.5	0.4	0.3	75.0	0.2
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		3.4	2.7	3.0	2.9	2.5	2.2	88.0	1.7
	ネクタイ類 Ties		25.2	21.4	21.6	20.8	18.2	18.1	99.5	13.6
	メリヤス、クロセス編物 Knit. kurose knitting		19.9	18.5	21.2	19.8	15.9	17.9	112.6	13.5
	その他の洋装類 Other western clothes		26.7	26.3	25.4	23.7	22.0	21.0	95.5	15.8
洋装類計 Western clothes subtotal			161.6	151.0	143.0	128.3	112.4	115.6	102.8	86.9
和装類計 Japanese clothes subtotal			17.4	18.4	15.5	14.7	15.9	14.5	91.2	10.9
うち絹製の帯小物等 Silk obi accessories of the inside			14.1	16.0	12.9	12.1	13.9	12.5	89.9	9.4
その他 Others			2.1	2.5	2.5	2.4	1.9	2.9	152.6	2.2
合計 Total			181.0	171.9	161.0	145.4	130.2	133.0	102.2	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」により（社）日本生糸問屋協会で作成したものである。

注：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance "Trade Statistics"

(arranged by Raw Silk Dealer's Association)

Note: Total may not added up due to round off.

(12) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

項 目 Item 年 月 Year & Month		総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2005		806	830	589
2006		600	645	541
2007		548	581	505
2008		393	518	378
2009		308	385	313
2010		240	299	263
2011		222	248	237
生糸年度 Silk Year				
2005		837	693	390
2006		562	599	349
2007		502	583	266
2008		406	452	224
2009		324	337	209
2010		260	281	188
Year	Month			
2010	— 11	8	24	293
	12	1	31	263
2011	— 1	27	17	273
	2	5	23	255
	3	0	22	233
	4	1	24	210
	5	0	22	188
	6	46	21	213
	7	36	20	229
	8	34	20	243
	9	13	21	235
	10	41	20	256
	11	19	21	254
	12	0	17	237
2012	— 1	4	15	226
	2	0	16	210
	3	0	16	194
	4	0	19	168
	5	9	18	144

資 料：農林水産省生産局調査（～2010. 3）。中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～）。

備 考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010. 3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010. 4～).

Remarks : 1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(13) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
	2005	10	203	126	62	269	111
	2006	9	114	94	82	266	103
	2007	8	112	93	83	266	100
	2008	7	112	90	80	266	90
	2009	7	118	71	60	259	82
	2010	7	118	58	49	247	73
	2011	7	110	57	52	252	65
2010 —	5	7	118	75	64	21	91
	6	7	118	74	63	22	84
	7	7	118	75	64	17	84
	8	7	118	76	64	18	79
	9	7	118	72	61	22	79
	10	7	118	76	64	22	79
	11	7	118	73	62	21	79
	12	7	118	58	49	21	73
2011 —	1	7	118	58	49	20	67
	2	7	118	58	49	21	63
	3	7	118	60	51	23	62
	4	7	118	55	47	21	66
	5	7	110	55	50	20	64
	6	7	110	52	47	21	60
	7	7	110	55	50	22	56
	8	7	110	53	48	20	64
	9	7	110	64	58	21	65
	10	7	110	57	52	21	66
	11	7	110	55	50	21	66
	12	7	110	57	52	21	65
2012 —	1	7	110	51	46	18	63
	2	7	110	48	44	19	63
	3	7	110	47	43	19	63
	4	7	110	53	48	22	57
	5	7	110	60	55	21	56

資 料：農林水産省生産局調査（～2010.3）。中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010.4～）。

備 考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～).

Remarks : 1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(14) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

項目 Item 年月 Year & Month	総計 Grand Total	一 般 在 庫 Stock in markets					農畜産業振興機構 Stock of Agriculture & Livestock Industries Corporation		
		計	製糸工場	生糸市場	生糸市場外	生糸輸出	受 入	引 渡	在庫数量
		Total	Filatures Mills	Dealers	Domestic Dealers	Ex and Importers	数 量	数 量	Ending Stocks
暦 年 Calendar Year									
2005	8,178	8,178	721	139	7,008	310	22,017	26,142	—
2006	9,356	9,356	446	50	8,606	254	19,974	19,974	—
2007	8,080	8,080	359	20	7,358	343	12,601	12,601	—
2008	4,584	4,584	310	15	3,536	723	1,459	1,459	—
2009	4,055	4,055	355	10	3,162	528			
2010	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011	2,456	2,456	288	0	1,651	517			
生糸年度 (6～5) Silk Year									
2005	9,926	9,926	373	170	8,923	460	26,365	26,365	—
2006	8,241	8,241	473	20	7,564	184	13,394	13,394	—
2007	5,281	5,281	305	15	4,241	720			
2008	4,205	4,205	376	15	3,266	515			
2009	3,661	3,661	358	0	2,795	508			
2010	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
2010 — 8	3,204	3,204	340	0	2,365	499			
9	3,257	3,257	331	0	2,422	504			
10	3,600	3,600	328	0	2,646	626			
11	3,567	3,567	331	0	2,628	608			
12	3,329	3,329	319	0	2,354	656			
2011 — 1	3,309	3,309	292	0	2,388	629			
2	3,148	3,148	284	0	2,219	645			
3	3,563	3,563	288	0	2,511	764			
4	3,154	3,154	288	0	2,182	684			
5	2,999	2,999	285	0	2,014	700			
6	2,932	2,932	213	0	2,110	609			
7	2,872	2,872	229	0	2,095	548			
8	2,882	2,882	243	0	2,168	471			
9	2,431	2,431	281	0	1,729	421			
10	2,462	2,462	273	0	1,664	525			
11	2,256	2,256	282	0	1,559	415			
12	2,456	2,456	288	0	1,651	520			
2012 — 1	2,691	2,691	277	0	1,825	586			
2	2,458	2,458	271	0	1,694	493			
3	2,467	2,467	273	0	1,696	498			
4	2,032	2,032	284	0	1,380	368			
5	2,348	2,348	304	0	1,481	583			

資 料：農林水産省生産局調査(～2010.3)。中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～)。

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).
Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～)。

(15) 蚕糸関係品目別輸入状況 (平成19年～24年5月)

Breakdown of Silk-Related Products Imports (2007～May. 2012)

	単位 Unit	平成24年(2012)		平成23年 (2011)	平成22年 (2010)	平成21年 (2009)	平成20年 (2008)	平成19年 (2007)	23年/22年 2011/10 (%)
		(5月) May.	(累計) Accumulated Total						
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bale s of 60kg	1,757	4,353	9,323	12,209	12,085	15,242	12,858	76.4
絹糸 Silk Yarn	俵 Bale s of 60kg	1,531	6,114	17,526	16,306	16,647	22,636	19,439	107.5
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bale s of 60kg	—	—	—	82	149	317	333	0.0
繭 Cocoon	kg	—	3,500	4,050	13,158	9,800	4,000	13,750	30.8
真綿 Floss Silk	kg	—	—	—	—	—	29,071	28,660	—
ペニール Peigne	kg	—	—	—	—	35,331	2,770	6,336	—
くず繭 Waste Cocoon	kg	674	3,067	10,885	9,395	33,450	23,770	17,184	115.9
絹ノイル Silk Noil	kg	—	—	—	—	—	202,220	242,082	—
その他の 絹くず Other Silk	kg	7,513	59,538	98,732	134,852	103,122	193,125	238,507	73.2
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	8,187	62,605	109,617	144,247	171,903	450,956	532,769	76.0
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	40,670	195,064	394,920	451,219	335,710	526,662	608,270	87.5
絹紡細糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	19,364	60,882	118,404	104,374	97,554	143,585	117,265	113.4
絹織物 Silk Fabrics	m ²	79,696	395,123	8,545,903	9,029,003	8,996,010	11,540,335	11,355,333	94.6

資料：財務省関税局

備考：絹ノイルと真綿の統計は、平成21年1月より廃止された。

Source: The Customs Bureau, Ministry of Finance

(16) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国 名 Country 年 月 Year & Month	計	中国	ブラジル	ベトナム	タイ	その他
	Total	China	Brazil	Vietnam	Thailand	Others
暦 年 Calendar Year						
2008	15,242 (137)	10,969 (102)	4,152 (35)	-	122 (-)	
2009	12,085 (72)	8,170 (51)	3,855 (21)	0 (-)	41 (-)	-
2010	12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	0	32	-
2011	9,323 (45)	7,170 (20)	2,136 (25)	0	5	-
生糸年度 Silk Year						
2008	12,138 (103)	8,572 (89)	3,435 (14)	11	122	-
2009	12,857 (66)	8,787 (38)	3,896 (28)	11	73	-
2010	12,172 (79)	9,062 (65)	3,068 (14)	1	39	-
2010 - 10	1,070 (16)	670 (10)	400 (6)	-	-	-
11	1,082	843	234	1	5	-
12	1,223	651	572	-	-	-
2011 - 1	1,448 (13)	1,168 (10)	274 (3)	-	6	-
2	593	521	72	-	-	-
3	1,381 (15)	1,052 (10)	321 (5)	-	6	-
4	372	316	56	-	-	-
5	1,280 (11)	1,082	198	-	-	-
6	760 (7)	416	344 (7)	-	-	-
7	489 (10)	389	100 (10)	-	-	-
8	547	292	254	-	-	-
9	420	420	-	-	-	-
10	765	491	272	-	3	-
11	550	325	225	-	-	-
12	717	697	20	-	3	-
2012 - 1	1,185	1,149	36	-	-	-
2	481	289	193	-	-	-
3	931	870	61	-	-	-
4	0	0	0	-	-	-
5	1,757	1,508	249	-	-	-

資 料 : 財務省関税局調査

備 考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(17) 絹糸の原産国別輸入数量 Silk Yarn Imports

(単位：60kg俵)
(Unit: Bales of 60kg)

国名 Country 年月 Year&Month	計 Total	韓 国 S Korea	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
暦 年 Calendar Year								
2008	22,636	143	12,513	6,865	12	—	3,204	12
2009	16,647	—	9,656	5,096	12	—	1,742	137
2010	16,306	—	9,675	4,161	16	—	1,716	212
2011	17,526	—	10,384	5,129	7	—	1,722	79
生糸年度 Silk Year								
2008	18,716	23	10,677	5,700	11	—	2,242	64
2009	17,481	—	9,940	5,065	7	—	1,953	186
2010	17,729	—	11,117	4,927	8	—	1,482	195
2010 — 3	1,051	—	506	343	1	—	132	68
4	1,318	—	747	363	—	—	178	29
5	1,192	—	692	342	—	—	157	—
6	1,325	—	889	296	—	—	135	4
7	1,573	—	1,026	352	—	—	144	50
8	1,303	—	784	382	—	—	137	0
9	1,235	—	811	302	—	—	121	1
10	1,254	—	754	366	—	—	132	2
11	1,453	—	790	526	13	—	81	56
12	1,485	—	877	465	1	—	141	1
2011 — 1	1,790	—	1,108	543	—	—	139	—
2	982	—	559	312	—	—	110	—
3	1,858	—	1,244	467	2	—	134	10
4	1,674	—	1,124	448	2	—	99	3
5	1,797	—	1,151	468	1	—	109	68
6	1,731	—	906	628	—	—	197	1
7	1,489	—	910	432	0	—	155	1
8	1,498	—	730	432	0	—	225	—
9	1,340	—	745	543	1	—	51	—
10	1,165	—	542	309	—	—	243	70
11	1,202	—	672	297	—	—	232	—
12	1,001	—	692	219	—	—	28	61
2012 — 1	1,590	—	1,075	353	—	—	80	82
2	758	—	378	216	1	—	162	1
3	1,143	—	747	281	2	—	113	—
4	1,092	—	662	326	25	—	103	24
5	1,531	—	1,001	328	15	—	124	63

資 料：財務省関税局調査。

備 考：kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(18) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価

Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵, K g/円

項 目 Item	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
年 月 Year & Month										
暦 年 Calendar Year										
1999	27,446	2,439	14,602	3,026	11,729	2,979	6,069	3,706	2,886	3,277
2000	30,147	2,655	11,772	3,340	13,769	2,789	5,712	3,543	6,255	3,168
2001	22,018	2,824	8,339	3,713	10,303	3,149	5,130	3,790	6,607	3,688
2002	24,521	2,241	7,909	3,192	13,256	2,556	6,097	3,299	7,122	3,053
2003	24,074	1,988	7,260	2,436	17,408	2,182	6,223	2,740	7,167	2,499
2004	18,016	2,435	7,387	3,631	13,280	2,576	7,444	3,038	7,076	2,624
2005	17,327	2,638	5,308	2,903	18,977	3,105	5,767	3,301	7,550	2,933
2006	14,739	3,736	6,181	4,188	17,019	4,172	5,675	4,543	8,706	3,643
2007	8,793	3,321	3,846	3,778	11,726	3,586	2,930	4,305	4,744	3,972
2008	12,190	3,104	4,153	3,490	12,627	3,361	3,204	3,989	6,865	3,220
2009	8,120	2,740	3,965	3,059	9,656	2,840	1,742	3,611	5,116	3,034
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2011 - 1	1,168	4,370	274	4,055	1,108	4,372	139	4,519	543	3,901
2	521	4,626	72	4,293	559	4,578	110	4,465	312	3,890
3	1,052	4,729	321	4,196	1,244	4,723	134	4,882	467	4,031
4	316	4,661	56	4,604	1,124	4,846	99	4,972	448	4,260
5	1,082	4,767	198	4,505	1,151	4,946	109	5,022	468	4,040
6	416	4,792	344	4,510	906	4,967	197	5,412	628	4,579
7	389	4,893	100	5,918	910	4,990	155	5,741	432	4,726
8	292	4,570	254	4,964	730	4,922	255	5,594	763	4,710
9	421	4,483	0	0	745	4,665	51	5,991	543	4,792
10	491	4,174	272	5,310	542	4,735	283	5,833	309	4,655
11	325	4,199	225	5,209	673	4,432	232	6,027	297	4,681
12	697	4,469	20	5,492	692	4,309	28	6,313	219	4,560
2012 - 1	1,149	4,180	36	5,260	1,075	4,131	92	5,958	353	4,345
2	289	4,024	193	5,297	378	4,137	162	5,560	216	4,264
3	870	4,296	61	5,241	747	4,323	113	6,187	281	4,731
4	0	0	0	0	662	4,372	103	6,065	326	4,887
5	1,508	4,311	249	5,220	1,001	4,304	124	6,048	328	4,625

資 料：財務省調査。通関統計による、単価はC I F価格である。

Source：The customs Bureau, Ministry of Finance

Remarks：A unit price is CIF price.

(19) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000㎡)
(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics 年 月 Year & Month	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crape	先 練 (先染) Dyed Yarn	
暦 年 Calendar Year									
2006	18,507	6,105	2,732	1,727	1,646	9,311	5,966	3,345	3,090
2007	15,466	5,215	2,276	1,547	1,392	7,709	4,671	3,038	2,542
2008	14,043	4,887	2,061	1,419	1,407	6,929	4,263	2,666	2,228
2009	11,472	4,015	1,732	1,193	1,090	5,663	3,449	2,214	1,794
2010	11,612	3,844	1,510	1,254	1,080	6,212	4,029	2,183	1,556
2011	10,419	3,980	2,510	187	1,272	4,437	1,813	2,613	2,001
2011 — 1	809	309	195	15	99	345	141	203	155
2	879	336	212	16	107	374	153	221	169
3	902	345	217	16	110	384	157	226	173
4	998	381	240	18	122	425	174	250	192
5	846	323	204	15	103	360	147	212	162
6	925	353	223	17	113	394	161	232	178
7	843	322	203	15	103	359	147	211	162
8	790	302	190	14	96	336	137	198	152
9	800	305	193	14	98	341	139	201	154
10	833	318	201	15	102	355	145	209	160
11	892	341	215	16	109	380	155	224	171
12	902	345	217	16	110	384	157	226	173
2012 — 1	801	365	199	16	151	255	143	112	181
2	818	373	204	16	154	260	146	115	185
3	828	378	206	17	156	263	147	116	187
4	828	378	206	17	156	263	147	116	187
5	836	393	215	17	162	274	154	121	195

資 料：(社)日本絹人織織物工業会。

備 考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source：Japan Silk & Rayon Weaver's Association.

Remarks：Spun and mixed fabrics included.

Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(20) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2005	19,821	90.3	1,058,571	94.5	170,061	92.6	691,780	88.7
2006	18,526	93.5	912,027	86.2	132,448	78.1	598,040	86.4
2007	15,479	83.6	712,560	78.1	97,204	73.0	977,719	163.5
2008	13,914	89.9	656,919	92.2	88,401	90.8	867,490	88.7
2009	9,930	71.4	503,365	76.6	73,681	84.0	746,538	86.1
2010	11,661	117.4	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	10,319	88.5	715,898	138.8	70,803	84.3	692,943	80.6
2010 — 1	834	95.2	31,911	114.2	5,989	110.3	64,521	91.9
2	939	90.9	46,194	95.2	6,366	106.2	68,288	85.2
3	965	96.6	43,859	99.8	7,813	117.2	75,704	106.9
4	997	101.0	44,458	101.1	7,506	110.9	86,802	122.7
5	981	104.9	42,508	107.0	6,642	128.7	70,454	140.9
6	1,103	109.3	44,160	96.4	7,316	112.7	72,395	121.7
7	1,014	105.8	44,163	109.5	7,146	110.8	63,858	101.9
8	901	105.6	39,856	105.9	7,022	124.4	60,415	141.3
9	962	99.9	41,925	94.7	6,925	114.0	64,965	121.3
10	995	105.4	46,366	114.9	5,807	96.3	78,060	135.0
11	1,004	102.7	45,283	95.1	6,553	94.7	68,940	104.3
12	966	103.1	45,018	104.1	5,616	92.7	68,067	110.1
2011 — 1	814	97.6	32,734	102.6	5,452	91.0	61,927	96.0
2	873	93.0	42,369	91.7	6,027	94.7	60,552	88.7
3	902	93.5	41,784	95.3	6,898	88.3	56,128	74.1
4	989	99.2	44,774	100.7	6,507	83.6	59,998	69.1
5	840	85.6	39,714	93.4	6,096	89.3	62,562	88.8
6	911	82.6	41,785	94.6	6,072	79.2	60,832	84.0
7	834	82.2	43,509	98.5	5,399	72.9	53,800	84.2
8	779	86.5	34,386	86.3	6,064	82.6	49,057	81.2
9	788	81.9	34,639	82.6	5,394	74.0	61,501	94.7
10	821	82.5	39,106	84.3	5,589	92.5	51,586	66.1
11	879	87.5	37,346	82.5	5,929	84.0	62,567	90.8
12	889	92.0	39,833	88.5	5,376	90.3	52,433	77.0
2012 — 1	801	98.4	29,890	91.3	4,787	87.8	51,823	83.7
2	818	93.7	38,352	90.5	5,632	93.4	65,046	107.4
3	829	91.9	37,766	90.4	5,306	76.9	62,163	110.8
4	829	83.8	42,234	94.3	5,614	86.3	57,688	96.1
5	863	102.7	33,283	83.8	6,109	100.2	56,873	90.9

資 料：絹織物生産数量は(社)日本絹人織織物工業会調査。主要3産地の生産量、出荷数量は(社)日本生糸問屋協会調査。

備 考：2006年1月以降の西陣の帯生産数量には、帯裏地等を含む。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association and Japan Raw Silk Dealer's Association.

Remarks : Since Jan. 2006, sash linings are included in sash production.

(21) 全国全世帯被服類品目別消費支出状況

Consumption Expenditures of Total Households

項目 Item 年月 Year & Month	消費支出総額 Total		被服及び履物 Clothing&footwear		和服 Japanese clothing		洋服 Clothing		シャツ・セーター Shirts &sweaters		下着類 Underwear	
	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)	(円) Yen	前年比 (%)
暦年Calendar Year												
2004	304,203	0.5	13,572	▲ 2.8	559	10.5	5,257	▲ 3.5	2,936	0.9	1,213	▲ 4.7
2005	300,903	▲ 1.1	13,440	▲ 1.0	440	▲ 7.8	5,122	▲ 2.6	2,911	▲ 0.9	1,260	3.9
2006	294,943	▲ 2.0	12,776	▲ 1.0	342	▲ 7.8	5,007	▲ 2.6	2,694	▲ 0.9	1,184	3.9
2007	297,782	1.0	12,933	1.2	345	0.9	5,066	1.2	2,727	1.2	1,164	▲ 1.7
2008	296,932	▲ 0.3	12,523	▲ 3.2	299	▲ 13.3	4,890	▲ 3.5	2,598	▲ 4.7	1,133	▲ 2.7
2009	291,737	▲ 0.2	11,994	▲ 3.3	261	▲ 12.0	4,622	▲ 4.2	2,468	▲ 4.0	1,098	▲ 2.9
2010	290,244	0.3	11,499	▲ 2.9	245	▲ 6.0	4,459	▲ 2.3	2,353	▲ 3.8	1,069	▲ 1.0
2011	282,966	▲ 2.5	11,382	▲ 1.0	270	10.0	4,273	▲ 4.2	2,425	3.1	1,100	2.9
2010 - 6	276,494	0.5	11,514	▲ 0.9	77	▲ 34.5	3,902	1.2	2,746	▲ 4.8	1,112	▲ 0.9
7	285,274	1.1	12,273	4.4	755	261.6	3,878	1.2	3,022	0.3	1,266	▲ 0.8
8	293,361	1.7	8,718	▲ 1.0	174	▲ 52.6	2,946	5.0	2,094	▲ 3.3	960	7.5
9	275,367	0.0	9,165	▲ 4.1	395	84.4	3,074	▲ 5.9	1,915	▲ 9.4	916	0.4
10	287,433	▲ 0.4	12,763	5.1	238	215.7	5,000	7.5	2,642	▲ 0.9	1,305	9.3
11	284,212	▲ 0.4	12,530	▲ 7.8	221	▲ 6.7	5,025	▲ 9.6	2,385	▲ 3.4	1,310	▲ 5.1
12	327,006	▲ 3.3	12,802	▲ 11.3	69	▲ 79.9	5,205	▲ 9.5	2,280	▲ 13.2	1,435	▲ 12.8
2011 - 1	289,191	▲ 0.3	12,521	▲ 3.7	120	17.2	5,405	▲ 8.1	2,749	6.1	1,135	9.3
2	260,793	0.5	8,720	▲ 6.7	282	▲ 36.0	3,802	▲ 5.0	1,445	▲ 12.3	735	2.5
3	291,900	▲ 8.2	11,013	▲ 16.0	451	92.1	5,014	▲ 19.8	1,772	▲ 15.4	773	▲ 10.2
4	292,559	▲ 2.0	11,212	5.0	92	▲ 20.2	4,183	2.3	2,398	14.0	900	10.0
5	276,159	▲ 1.0	11,906	▲ 0.7	49	▲ 60.7	4,099	0.4	2,789	▲ 1.1	1,158	7.6
6	265,807	▲ 1.6	11,384	▲ 0.6	113	44.8	3,620	▲ 7.0	2,907	5.5	1,234	11.8
7	280,046	▲ 3.1	12,078	▲ 1.9	281	▲ 63.3	4,068	4.0	3,103	1.9	1,329	6.1
8	282,008	▲ 5.4	8,921	1.8	456	159.0	2,693	▲ 9.6	2,059	▲ 2.8	943	▲ 0.5
9	270,010	▲ 3.4	8,709	▲ 5.0	221	▲ 44.4	2,966	▲ 3.7	1,895	▲ 1.6	863	▲ 5.1
10	285,605	▲ 2.2	13,099	2.3	625	161.8	5,023	▲ 0.2	2,790	4.8	1,201	▲ 7.4
11	273,428	▲ 3.2	13,230	5.6	490	122.6	5,026	0.1	2,649	10.0	1,280	▲ 1.1
12	328,080	0.2	13,786	7.7	54	▲ 21.5	5,382	3.3	2,547	10.9	1,644	15.9
2012 - 1	283,124	▲ 0.7	13,148	4.3	271	125.6	5,496	0.9	2,675	5.5	1,132	▲ 0.2
2	267,855	3.1	8,829	0.5	380	34.9	3,713	▲ 3.3	1,543	4.5	733	0.4
3	303,841	4.9	12,167	10.2	148	▲ 67.1	5,512	10.2	2,065	13.2	878	14.9
4	301,948	3.3	11,687	4.3	95	2.9	4,399	5.4	2,434	1.1	934	5.0
5	287,911	2.8	11,592	▲ 2.5	124	150.1	3,801	▲ 7.2	2,771	▲ 0.7	1,072	▲ 6.6

資料:総務省統計局「家計調査報告」。2人以上で構成される8,000世帯を集計。

備考:「被服及び履物」は右に並ぶ内訳4項目以外の費目も含む。年数値は月平均。

Source:Family Income and Expenditure Survey by Statistics Bureau, MIC.

Added up 8,000 two-or-more-person households.

Remarks:Clothing&footwear includes japanese clothing ,clothing ,shirts&sweaters and other items.

Year value is mean of the each month

一 資料・海外一

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSED)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSED).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2005年		2006年		2007年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	151	2,500	119	2,000	105	1,800
中国	China	87,761	1,462,700	93,105	1,552,000	108,420	1,807,000
インド	India	15,445	257,400	16,525	275,400	16,245	270,800
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,285	21,400	1,387	23,100	1,220	20,300
タイ	Thailand	1,420	23,700	1,080	18,000	760	12,700
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,100	18,300	1,100	18,300	1,100	18,300
イラン	Iran	395	6,600	324	5,400	253	4,200
トルコ	Turkey	30	500	25	400	20	300
インドネシア	Indonesia	91	1,500	47	800	65	1,100
ブルガリア	Bulgaria	6	100	5	100	7.5	100
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1.1	0	1.6	0	1	0
シリア	Syria	0.7	0	0.5	0	0	0
主要国の計	Total	109,940	1,832,300	115,973	1,933,100	130,451	2,174,200

区 分		2008年		2009年		2010年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	95	1,600	69	1,200	53	900
中国	China	98,620	1,643,700	92,455	1,540,900	95,778	1,596,300
インド	India	15,610	260,200	16,322	272,000	16,360	272,700
ベトナム	Vietnam	2,250	37,500	2,250	37,500	2,250	37,500
ブラジル	Brazil	1,177	19,600	811	13,500	770	12,800
タイ	Thailand	1,100	18,300	665	11,100	665	11,100
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,417	23,600	2,447	40,800	2,100	35,000
イラン	Iran	180	3,000	180	3,000	180	3,000
トルコ	Turkey	15	300	20	300	20	300
インドネシア	Indonesia	37	600	19	300	20	300
ブルガリア	Bulgaria	7.5	100	6.3	100	9.4	160
ギリシャ	Greece	4	100	4	100	4	100
フィリピン	Philippines	1	0	1	0	1	0
シリア	Syria	0.4	0	0.6	0	0.6	0
主要国の計	Total	120,514	2,008,600	115,250	1,920,800	118,211	1,970,160

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

(3)中国省別家蚕繭生産数量・生糸生産数量・製糸工場数

Domesticated Cocoon Production, Raw Silk Production, and Number of Filatures in China

省 Province	区分	家蚕繭生産量 Domesticated Cocoon Production (トン、%)(MT, %)			生糸生産量 Raw silk Production (トン、%)(MT, %)		
		2009	2010	対前年比 2010/09	2009	2010	対前年比 2010/09
山 西	Shanxi	4,046	5,894	146	266	182	68
河 北	Hebei	1,200	1,500	125	—	—	—
江 蘇	Jiangsu	73,175	77,399	106	17,800	16,000	90
浙 江	Zhejiang	45,600	57,000	125	15,000	14,436	96
安 徽	Anhui	24,800	25,000	101	5,200	6,438	124
江 西	Jiangxi	7,602	7,000	92	2,900	3,591	124
山 東	Shandong	23,900	22,000	92	5,800	7,510	129
河 南	Henan	10,101	7,500	74	2,100	103	5
湖 北	Hubei	17,150	10,600	62	555	446	80
湖 南	Hunan	3,182	2,452	77	104	197	189
広 東	Guangdong	53,321	39,300	74	1,722	1,711	99
広 西	Guangxi	172,900	214,000	124	16,237	18,164	112
重 慶	Chongqing	17,311	17,200	99	4,200	4,000	95
四 川	Sichuan	70,000	71,000	101	14,900	14,900	100
貴 州	Guizhou	2,751	1,460	53	105	134	128
雲 南	Yunnan	30,230	40,000	132	2,237	2,138	96
陝 西	Shaanxi	17,200	17,600	102	3,263	3,664	112
甘 肅	Gansu	253	304	120	—	—	—
寧 夏	Ningxia	126	126	100	—	—	—
新 疆	Xinjiang	450	580	129	—	—	—
内 蒙 古	Inner Mongolia	—	—	—	66	64	97
合 計	Total	575,299	617,915	107	92,455	95,778	104

製糸工場数（件） Number of Filatures		
2006	2008	前年比 2008/06
702	682	97

資料：中国絲綢協会資料による

注：合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(4) 中国省別家蚕繭生産数量の推移

Domesticated Cocoon Production in China (1998年～2009年)

(単位：万トン) (Unit: 10,000ton)

地域	Area	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	前年比 10/09(%)
北 京	Beijing													
天 津	Tianjin													
河 北	Hebei	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1				0.1	0.1	0.1	0.2	125
山 西	Shanxi	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6	0.4	0.6	146
内 蒙 古	Inner Mongolia													
遼 寧	Liaoning													
吉 林	Jilin													
黒 龍 江	Heilongjiang													
上 海	Shanghai						0.0	0.0						
江 蘇	Jiangsu	8.2	9.0	10.1	11.9	10.7	11.1	10.1	11.8	10.4	9.5	7.3	7.7	106
浙 江	Zhejiang	9.4	9.5	11.0	9.9	7.9	7.6	7.5	8.5	8.4	6.4	4.6	5.7	125
安 徽	Anhui	2.1	2.5	2.7	2.8	2.6	2.7	3.4	3.8	3.8	3.3	2.5	2.5	101
福 建	Fujian													
江 西	Jiangxi	0.3	0.3	0.5	0.7	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2	1.0	0.8	0.7	92
山 東	Shandong	4.2	5.3	6.9	6.9	6.7	3.5	3.7	4.0	4.0	3.5	2.4	2.2	92
河 南	Henan	1.2	1.3	1.5	1.7	1.1	0.7	0.9	1.3	1.4	1.2	1.0	0.8	74
湖 北	Hubei	1.4	1.2	1.2	1.3	1.2	1.1	1.4	1.6	1.6	2.1	1.7	1.1	62
湖 南	Hunan			0.1	0.1	0.2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	77
広 東	Guangdong	2.3	3.1	4.5	5.3	5.2	2.7	3.4	6.9	8.1	7.1	5.3	3.9	74
広 西	Guangxi	1.9	3.0	5.6	7.4	8.7	9.2	14.8	18.5	20.5	17.1	17.3	21.4	124
海 南	Hainan													
重 慶	Chongqing	2.4	3.0	3.2	3.4	2.8	2.6	3.1	2.4	2.5	2.2	1.7	1.7	99
四 川	Sichuan	8.1	8.7	9.2	9.3	9.3	8.3	7.8	7.8	8.4	6.9	7.0	7.1	101
貴 州	Guizhou	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.4	0.3	0.1	53
雲 南	Yunnan	0.7	0.7	0.9	1.1	1.3	1.9	2.0	3.1	3.7	4.0	3.0	4.0	132
チベット	Tibet													
陝 西	Shaanxi	1.5	1.5	1.6	1.7	1.9	1.6	2.0	1.8	2.5	2.4	1.7	1.8	102
甘 肅	Gansu						0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	
青 海	Qinghai													
寧 夏	Ningxia						0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
新 疆	Xinjiang	0.3	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
合 計	Total	44.7	50.1	60.2	64.5	61.1	55.0	62.2	73.9	77.9	68.3	57.5	61.8	107

資料：2003年までは中国国家统计局「中国統計年鑑」、2004年以降は中国絲綢協会資料による。

合計はラウンドの関係で一致していない。

Source: Until 2003, "China Statistical Yearbook" National Bureau of Statistics of China

Since 2004, China Silk Association

Note: Total may not add up due to round off.

(5) 中国のシルク類（生糸・絹糸・絹織物）の輸出状況

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2011年1月～12月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	4,114,330	77.39	209,055	99.41
2 ルーマニア	Romania	728,603	143.27	38,055	188.12
3 ベトナム	Vietnam	624,467	90.79	30,709	111.16
4 韓国	South Korea	466,392	88.91	24,529	115.70
5 日本	Japan	402,960	83.31	22,568	111.16
6 イタリア	Italy	312,007	89.72	17,274	116.30
7 バングラデシュ	Bangladesh	88,325	52.99	4,362	70.01
8 ミャンマー	Myanmar	82,273	104.43	4,205	138.86
9 ブラジル	Brazil	44,245	100.00	2,354	100.00
10 パキスタン	Pakistan	40,709	47.66	1,967	62.88
11 その他	Others	217,448	70.29	11,646	97.37
合計	Total	7,121,759	83.70	366,724	108.23

中国のシルク類の輸出状況
Silk Exports of China
(2012年1月～5月)

相手国	Country	生糸(柞蚕糸、野蚕生糸を含む) Raw Silk (tussah silk and wild raw silk included)			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1 インド	India	1,722,398	94.64	79,839	80.33
2 ルーマニア	Romania	261,754	119.97	12,828	112.37
3 ベトナム	Vietnam	246,346	97.10	11,230	83.81
4 日本	Japan	203,219	91.17	10,763	85.56
5 韓国	South Korea	197,638	99.12	9,586	88.24
6 イタリア	Italy	120,406	94.34	6,036	85.27
7 バングラデシュ	Bangladesh	52,017	180.55	2,248	145.72
8 ミャンマー	Myanmar	40,451	148.20	1,859	124.02
9 ブルガリア	Bulgaria	23,570	300.91	1,163	269.00
10 ブラジル	Brazil	17,357	86.12	0,937	83.62
11 その他	Others	66,454	70.55	3,288	53.63
合計	Total	2,951,610	97.74	139,776	84.98

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 インド	India	869,361	51.22	44,614	65.61
2 日本	Japan	653,654	103.35	37,423	139.39
3 イタリア	Italy	531,110	99.37	30,546	133.79
4 パキスタン	Pakistan	269,373	56.51	14,021	71.53
5 ドイツ	Germany	200,792	99.30	10,260	136.17
6 韓国	South Korea	182,339	96.21	9,758	124.35
7 タイ	Thailand	135,954	90.15	7,874	123.34
8 インドネシア	Indonesia	94,087	108.31	4,865	144.63
9 マレーシア	Malaysia	33,138	60.02	1,702	76.47
10 ベトナム	Vietnam	31,400	95.95	1,603	106.34
11 その他	Others	182,519	58.21	8,392	87.15
合計	Total	3,183,727	72.82	171,058	97.32

相手国	Country	絹糸 Spun Silk Yarn			
		数量 Quantity (Kg)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1 日本	Japan	254,952	81.59	13,505	76.69
2 インド	India	204,379	50.59	9,279	42.17
3 イタリア	Italy	152,586	56.56	7,853	51.15
4 ドイツ	Germany	121,290	162.54	6,411	184.51
5 パキスタン	Pakistan	114,820	130.03	5,475	110.64
6 韓国	South Korea	87,533	126.41	4,226	112.20
7 タイ	Thailand	44,353	60.23	2,180	50.81
8 インドネシア	Indonesia	37,230	122.84	1,788	110.31
9 ベトナム	Vietnam	30,027	229.65	1,426	221.36
10 リビア	Libya	10,140	—	0,744	—
11 その他	Others	82,983	102.36	3,885	96.45
合計	Total	1,140,293	80.50	56,772	73.03

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2011年実績	11/10(%)	2011年実績	11/10(%)
1 パキスタン	Pakistan	49,142,622	93.07	162,071	121.71
2 イタリア	Italy	33,520,431	67.64	185,559	106.99
3 インド	India	32,139,948	56.67	144,785	74.37
4 韓国	South Korea	14,649,985	85.76	101,387	112.05
5 香港	Hong Kong	13,900,523	89.56	83,993	119.62
6 日本	Japan	10,567,943	90.72	46,593	116.75
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emirates	7,508,512	88.65	37,343	119.20
8 マレーシア	Malaysia	6,361,626	81.22	37,976	99.90
9 米国	United States	6,247,924	103.71	44,198	125.30
10 チュニジア	Tunisia	6,132,107	115.84	11,006	140.29
11 その他	Others	37,726,968	87.92	203,149	114.01
合計	Total	217,898,589	79.57	1,058,060	106.60

相手国	Country	絹織物 Silk Fabrics			
		数量 Quantity (メートル)(meter)		金額 Amount (百万USDドル) (USD1,000,000)	
		2012年実績	12/11(%)	2012年実績	12/11(%)
1 パキスタン	Pakistan	17,177,288	116.50	63,224	131.89
2 イタリア	Italy	12,934,087	73.50	72,472	82.47
3 インド	India	9,301,382	65.30	42,962	68.68
4 香港	Hong Kong	5,990,164	113.01	42,466	121.55
5 韓国	South Korea	5,192,265	87.11	34,243	98.05
6 日本	Japan	4,019,091	80.38	18,102	86.35
7 アラブ首長国連邦	United Arab Emir	3,531,987	113.41	21,338	153.13
8 マレーシア	Malaysia	3,205,517	109.05	18,484	103.62
9 米国	United States	2,529,620	102.28	18,224	107.77
10 トルコ	Turkey	1,705,853	64.84	9,463	71.03
11 その他	Others	13,548,814	86.68	68,862	92.48
合計	Total	79,136,068	88.29	409,840	96.29

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

資料: 中国税関
Source: Customs General Administration in China

(6) 中国企業別従業員年間賃金総額及び対前年増減率

Total Wage Bill of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	賃金総額（億元） Wage Bill (100million yuan)				対前年増減率（%） Indices (preceding year=100)			
	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体 Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective -owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	8,255.8	6,172.6	1,210.6	672.7	21.8	17.4	15.6	42.2
1996年	9,249.4	6,893.3	1,269.4	801.7	12.0	11.7	4.9	19.2
1997年	9,602.4	7,323.9	1,283.9	994.5	3.8	6.2	1.1	24.0
1998年	9,540.2	6,934.6	1,054.9	1,550.7	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 17.8	55.9
1999年	10,155.9	7,289.9	995.8	1,870.1	6.5	5.1	▲ 5.6	20.6
2000年	10,954.7	7,744.9	950.7	2,259.1	7.9	6.2	▲ 4.5	20.8
2001年	12,205.4	8,515.2	898.5	2,791.7	11.4	9.9	▲ 5.5	23.6
2002年	13,638.1	9,138.0	863.9	3,636.2	11.7	7.3	▲ 3.9	30.3
2003年	15,329.6	9,911.9	867.1	4,550.6	12.4	8.5	0.4	25.1
2004年	17,615.0	11,038.2	876.2	5,700.6	14.9	11.4	1.0	25.3
2005年	20,627.1	12,291.7	906.4	7,429.0	17.1	11.4	3.4	30.3
2006年	24,262.3	13,920.6	983.8	9,357.9	17.6	13.3	8.5	26.0
2007年	29,471.5	16,689.1	1,108.1	11,674.3	21.5	19.9	12.6	24.8
2008年	35,289.5	19,487.9	1,203.2	14,598.4	19.7	16.8	8.6	25.0
2009年	40,288.2	21,862.7	1,273.3	17,152.1	14.2	12.2	5.8	17.5
2010年	47,269.9	24,886.0	1,433.7	20,949.7	17.3	13.8	12.6	22.1

資料：中国統計年鑑(2011)

Source: China Statistical Yearbook 2011

(7) 中国企業別従業員年間平均賃金及びその対前年増減率

Average Wage of Employed Persons in Urban Units and Related Indices

年次 Year	年平均賃金 (元) Average Wage (yuan)				対 前 年 増 減 率 (%) Indices(preceding year=100)							
					名 目 賃 金Average Wage				実 質 賃 金Average Real Wage			
	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership	全体Total	国有企業 State-owned Units	集団企業 Urban Collective- owned Units	その他企業 Units of Other Types of Ownership
1995年	5,348	5,553	3,934	7,728	18.9	17.3	21.1	19.9	1.8	0.4	3.7	2.6
1996年	5,980	6,207	4,312	8,521	11.8	11.8	9.6	10.3	2.8	2.7	0.7	1.3
1997年	6,444	6,679	4,516	9,092	7.8	7.6	4.7	6.7	4.5	4.4	1.6	3.5
1998年	7,446	7,579	5,314	9,241	15.5	13.5	17.7	1.6	16.2	14.2	18.4	2.3
1999年	8,319	8,443	5,758	10,142	11.7	11.4	8.4	9.8	13.2	12.9	9.8	11.2
2000年	9,333	9,441	6,241	11,238	12.2	11.8	8.4	10.8	11.3	10.9	7.5	9.9
2001年	10,834	11,045	6,851	12,437	16.1	17.0	9.8	10.7	15.3	16.2	9.0	9.9
2002年	12,373	12,701	7,636	13,486	14.2	15.0	11.5	8.4	15.4	16.2	12.6	9.5
2003年	13,969	14,358	8,627	14,843	12.9	13.0	13.0	10.1	11.9	12.0	12.0	9.1
2004年	15,920	16,445	9,723	16,519	14.0	14.5	12.7	11.3	10.3	10.9	9.1	7.7
2005年	18,200	18,978	11,176	18,362	14.3	15.4	14.9	11.2	12.5	13.6	13.1	9.4
2006年	20,856	21,706	12,866	21,004	14.6	14.4	15.1	14.4	12.9	12.7	13.4	12.7
2007年	24,721	26,100	15,444	24,271	18.5	20.2	20.0	15.6	13.4	15.0	14.8	10.6
2008年	28,898	30,287	18,103	28,552	16.9	16.0	17.2	17.6	10.7	9.8	11.0	11.4
2009年	32,244	34,130	20,607	31,350	11.6	12.7	13.8	9.8	12.6	13.7	14.8	10.8
2010年	36,539	38,359	24,010	35,801	13.3	12.4	16.5	14.2	9.8	8.9	12.9	10.7

中国統計年鑑2011 Source:China Statistical Yearbook 2011

(8)中国産業別従業員年平均賃金の推移

Average Wage of Employed Persons in Urban Units by Sector

(単位:元)(yuan)

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
農、林、牧、漁業 Agriculture, Forestry, Fishery	6,884	7,498	8,207	9,269	10,847	12,560	14,356	16,717
採掘業 Mining	13,627	16,774	20,449	24,125	28,185	34,233	38,038	44,196
製造業 Manufacturing	12,671	14,251	15,934	18,225	21,144	24,404	26,810	30,916
電力、ガス、水道業 Production/Distribution of Electricity, Gas and Water	18,574	21,543	24,750	28,424	33,470	38,515	41,869	47,309
建築業 Construction	11,328	12,578	14,112	16,164	18,482	21,223	24,161	27,529
交通、運輸、倉庫、郵便業 Transport, Storage and Post	15,753	18,071	20,911	24,111	27,903	32,041	35,315	40,466
情報通信コンピューターサービス Information Transmission, Computer Service and Software	30,897	33,449	38,799	43,435	47,700	54,906	58,154	64,436
卸売、小売業 Wholesale and Retail Trades	10,894	13,012	15,256	17,796	21,074	25,818	29,139	33,635
ホテル、飲食業 Hotels and Catering Services	11,198	12,618	13,876	15,236	17,046	19,321	20,860	23,382
金融業 Financial Intermediation	20,780	24,299	29,229	35,495	44,011	53,897	60,398	70,146
不動産業 Real Estate	17,085	18,467	20,253	22,238	26,085	30,118	32,242	35,870
賃貸、リース業 Leasing and Business Services	17,020	18,723	21,233	24,510	27,807	32,915	35,494	39,566
科学研究、技術サービス業 Scientific Research, Technical Services	20,442	23,351	27,155	31,644	38,432	45,512	50,143	56,376
水利、環境管理業 Manage of Water Conservancy, Environment and Public Services	11,774	12,884	14,322	15,630	18,383	21,103	23,159	25,544
家庭サービス業 Services to Households and Other Services	12,665	13,680	15,747	18,030	20,370	22,858	25,172	28,206
教育 Education	14,189	16,085	18,259	20,918	25,908	29,831	34,543	38,968
衛生、社会保障、社会福祉業 Health, Social Securities and Entertainment	16,185	18,386	20,808	23,590	27,892	32,185	35,662	40,232
文化、スポーツ、娯楽業 Culture, Sports and Entertainment	17,098	20,522	22,670	25,847	30,430	34,158	37,755	41,428
公共機関、社会团体 Public Management and Social Organization	15,355	17,372	20,234	22,546	27,731	32,296	35,326	38,242
合 計 Total	13,969	15,920	18,200	20,856	24,721	28,898	32,244	36,539

(出所)中国統計年鑑2011

Source: China Statistical Yearbook 2011

上記を円(Yen)換算

産業別 Sector	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
製造業 Manufacture	184,236	192,389	212,560	273,375	317,160	366,060	375,340	401,908
合 計 Total	203,109	214,920	242,788	312,840	370,815	433,470	451,416	475,007
年別人民元yuan/円yenレート	14.54	13.50	13.34	15.00	15.00	15.00	14.00	13.00

(9) 中国省別従業員年平均賃金(2010年)

Average Wage of Employed Persons Urban Units by Region

省(区)別 Region			年平均賃金(単位: 元)(yuan)	円換算(円) (yen)	対全国平均比(%) Indices(average=100)
北	京	Beijing	65,158	847,054	178.32
天	津	Tianjin	51,489	669,357	140.92
河	北	Hebei	31,451	408,863	86.08
山	西	Shanxi	33,057	429,741	90.47
内	蒙	Inner Mongolia	35,211	457,743	96.37
遼	寧	Liaoning	34,437	447,681	94.25
吉	林	Jilin	29,003	377,039	79.38
黒	龍	Heilongjiang	27,735	360,555	75.91
上	海	Shanghai	66,115	859,495	180.94
江	蘇	Jiangsu	39,772	517,036	108.85
浙	江	Zhejiang	40,640	528,320	111.22
安	徽	Anhui	33,341	433,433	91.25
福	建	Fujian	32,340	420,420	88.51
江	西	Jiangxi	28,363	368,719	77.62
山	東	Shandong	33,321	433,173	91.19
河	南	Henan	29,819	387,647	81.61
湖	北	Hubei	31,811	413,543	87.06
湖	南	Hunan	29,670	385,710	81.20
広	東	Guangdong	40,432	525,616	110.65
広	西	Guangxi	30,673	398,749	83.95
海	南	Hainan	30,775	400,075	84.23
重	慶	Chongqing	34,727	451,451	95.04
四	川	Sichuan	32,567	423,371	89.13
貴	州	Guizhou	30,433	395,629	83.29
雲	南	Yunnan	29,195	379,535	79.90
西	蔵	Tibet	49,898	648,674	136.56
陝	西	Shaanxi	33,384	433,992	91.37
甘	肅	Gansu	29,096	378,248	79.63
青	海	Qinghai	36,121	469,573	98.86
寧	夏	Ningxia	37,166	483,158	101.72
新	疆	Xinjiang	32,003	416,039	87.59
全国平均			Average	475,007	100.00

(出所) 中国統計年鑑2011 Source: China Statistical Yearbook 2011

(注) 1元=13円 Note: 1yuan=13yen

(10)ブラジルの繭・生糸生産数量の推移
Cocoon and Raw Silk Production in Brazil

シルク年度 Silk Year (9～8月) (Sep-Aug)	繭生産量 Cocoon Production (トン)(Ton)
1988/89	11,470
1989/90	15,829
1990/91	17,221
1991/92	17,586
1992/93	19,134
1993/94	18,260
1994/95	16,260
1995/96	15,368 (95%)
1996/97	14,811 (96%)
1997/98	14,594 (99%)
1998/99	10,305 (71%)
1999/2000	8,473 (82%)
2000/01	9,916 (117%)
2001/02	10,238 (103%)
2002/03	9,966 (97%)
2003/04	8,005 (80%)
2004/05	7,146 (89%)
2005/06	8,051 (113%)
2006/07	8,617 (107%)
2007/08	6,266 (73%)
2008/09	4,835 (77%)
2009/10	4,439 (92%)
2010/11 〔見込み〕 [Estimate]	3,161 (71%)

暦年 Calendar Year	生糸生産量 Raw Silk Production (kg)	生糸生産量 Raw Silk Production (俵換算) (Bale value)
1988	1,748,996	29,150
1989	1,696,622	28,277
1990	1,693,206	28,220
1991	2,077,155	34,619
1992	2,296,053	38,268
1993	2,325,809	38,763
1994	2,535,440	42,257
1995	2,467,524 (97%)	41,125
1996	2,242,000 (91%)	37,367
1997	2,120,129 (95%)	35,335
1998	1,820,745 (86%)	30,346
1999	1,553,722 (85%)	25,895
2000	1,389,356 (89%)	23,156
2001	1,484,905 (107%)	24,748
2002	1,607,485 (108%)	26,791
2003	1,562,563 (97%)	26,043
2004	1,512,133 (97%)	25,202
2005	1,284,510 (85%)	21,409
2006	1,387,289 (108%)	23,121
2007	1,219,562 (88%)	20,326
2008	1,176,885 (97%)	19,615
2009	811,020 (69%)	13,517
2010	770,000 (95%)	12,833
2011 〔見込み〕 [Estimate]	557,000 (72%)	9,283

資料: ブラジル製糸協会

注: ()内は対前年比

[]内の見込みは2011年2月現在

Source: ABRASSEDA

Note: Figures in parenthesis are compared to the previous year.

Estimates are as of February 2011.

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2005年	2006年	2007年
		トン	トン	トン
日本	Japan	626	505	433
中国	China	621,461	739,715	779,261
インド	India	126,261	135,462	132,038
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	7,146	8,051	8,617
タイ	Thailand	10,650	10,100	1,785
ウズベキスタン	Uzbekistan	20,000	20,000	20,000
イラン	Iran	2,543	2,104	1,665
トルコ	Turkey	170	350	130
インドネシア	Indonesia	691	339	470
ブルガリア	Bulgaria	42	65	55
ギリシャ	Greece	70	100	104
フィリピン	Philippines	14.4	16	9
シリア	Syria	5.5	3	2.5
主要国の計	Total	810,680	937,810	965,570

区 分		2008年	2009年	2010年
		トン	トン	トン
日本	Japan	382	327	265
中国	China	683,387	575,299	617,915
インド	India	124,834	131,661	131,924
ベトナム	Vietnam	21,000	21,000	21,000
ブラジル	Brazil	6,266	4,835	4,439
タイ	Thailand	7,700	4,655	4,655
ウズベキスタン	Uzbekistan	25,760	25,896	20,000
イラン	Iran	1,185	1,185	1,185
トルコ	Turkey	126	140	140
インドネシア	Indonesia	273	133	161
ブルガリア	Bulgaria	48	51	75
ギリシャ	Greece	100	100	100
フィリピン	Philippines	6	4	4
シリア	Syria	3	4	4
主要国の計	Total	871,070	765,290	801,867

注1 日本は農林水産省生産局、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)の統計値を使用した。

注2 シェアの大きいベトナムは、2005年以降を不明年の前年と同数量の数値とした。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Agricultural Production Bureau, MAFF.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSEDA).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

2 As the figures of Vietnam (since 2004) is not reported, that is taken as the same amount as previous year because that constitute high proportion of total.

※「シルクレポート」の主要記事と統計データは、当支援センターのホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

シルクレポート 2012 年 9 月号 NO.26 平成 24 年 9 月 1 日発行

編集 / 発行
(問い合わせ先)

(財) 大日本蚕糸会 蚕糸・絹業提携支援センター
〒 100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 5 階
TEL : 03-3214-3500
FAX : 03-3214-3511
URL:<http://www.silk-teikei.jp/index.html>

製本 / 印刷 株式会社 正大印刷社

無断転載禁ず